

第 3 次長久手市子ども読書活動推進計画
アンケート集計分析業務
調査報告書（案）

令和 4 年 7 月

長久手市中央図書館

(表紙裏)

第 1 章 調査の概要

1	調査目的	1
2	調査の種類	1
3	調査対象及び調査方法	1
4	調査期間	2
5	回収状況	3
6	調査報告書の表記	3

第 2 章 調査結果

1 子どもの読書についてのアンケート

1-1	保育園保護者アンケート	4
(1)	通っている保育園	4
(2)	園児のクラス(年齢)	4
(3)	幼児期の読書経験	5
(4)	本が好きか	6
(5)	読み聞かせを始めた時期	8
(6)	読み聞かせをしていない理由	10
(7)	1か月に触れる本の冊数	11
(8)	お子さんが本に触れない理由	13
(9)	お子さんの関心事	13
(10)	興味のある本	14
(11)	中央図書館の利用頻度	15
(12)	中央図書館ホームページの閲覧項目	18
(13)	本の入手方法	19
(14)	児童館の図書室の利用頻度	21
1-2	小学生・中学生アンケート	23
(1)	通っている学校	23
(2)	学年	23
(3)	就学前に本を読んでもらった経験	24
(4)	読書が好きか	25
(5)	1か月に読む本の冊数	28
(6)	本をほとんど・全く読まない理由	33
(7)	本を読むきっかけ	36
(8)	どこの本をよく読むか	39
(9)	家で本を読む時間	43
(10)	家でゲーム、テレビ、パソコンを見る時間	44
(11)	電子書籍を読んだ経験	45
(12)	1か月に中央図書館へ行く回数	47

(13) 読書手帳への記載	53
(14) 調べ物のために本を借りた経験	56
(15) Y・Aコーナーの認知・利用状況	57
(16) 本を読むことで得られる影響	58
(17) 中央図書館ホームページでよく見る項目	59

2 市民団体、関係機関調査

(1) 市民団体（ボランティア団体アンケート）	60
(2) 関係機関（児童発達支援センターヒアリング）	62

3 読書活動推進に関する活動調査

(1) 児童館・子育て支援センター・保育園（アンケート）	63
(2) 小学校・中学校（アンケート）	67
(3) 高等学校（アンケート）	71

資料編

1. アンケート調査票	72
(1) 3・4・5歳児保護者用	
(2) 小学2・4・6年生用	
(3) 中学2年生用	
2. 市民団体・関係機関 調査票	76
(1) ボランティア団体用（アンケート）	
(2) 児童発達支援センター用（ヒアリング）	
3. 読書活動に関する活動調査 調査票	80
(1) 児童館・子育て支援センター・保育園用（アンケート）	
(2) 小学校・中学校・高等学校用（アンケート）	

1 調査目的

平成30年（2018年）5月に策定した「第2次長久手市子ども読書活動推進計画」が令和4年度（2022年度）に計画期間を終了することから、新たに令和5年度（2023年度）からの5年間を見据えた「第3次長久手市子ども読書活動推進計画」を策定していきます。

本調査は、計画策定に先立ち、現況を把握し計画策定のための基礎データを収集することを目的として実施したものです。

2 調査の種類

調査としては、1)子どもの読書についてのアンケート（保育園児の保護者・小中学生対象）、2)市民団体、関係機関調査（ボランティア団体及び児童発達支援センター対象）、3)読書活動推進に関する活動調査（児童館・子育て支援センター・保育園・小中学校・高等学校対象）、以上の3種です。

なお、①子どもの読書についてのアンケートに関して、本市では平成23年12月に第1回のアンケート調査を実施し（第1次計画用）、平成29年11月に第2回のアンケートを実施（第2次計画用）しました。今回は第3回の調査となります。

3 調査対象及び調査方法

調査の種類	調査対象と調査方法
1)子どもの読書についてのアンケート	<p>① 3・4・5歳児の保護者 主に保育園を通じてアンケート回答ページのQRコード付きチラシを配布し、Web上で回答</p> <p>② 小学2・4・6年生（特別支援学級児童を含む） 主に学校でタブレット端末を使って回答</p> <p>③ 中学2年生（特別支援学級生徒を含む） 主に学校でタブレット端末を使って回答</p>
2)市民団体、関係機関調査	<p>① 市民団体（ボランティア団体） 調査対象：（5団体） ・朗読の会 吾亦紅 ・なんじゃもんじゃ ・読み聞かせボランティア（個人） ・点字サークル ・Ladybug（英語の絵本の読み聞かせ） 調査方法：記述式のアンケート（調査票）を配布し、質問事項に対して回答</p> <p>② 関係機関 調査対象：児童発達支援センター こぐまっこ 調査方法：ヒアリング調査</p>

調査の種類	調査対象と調査方法
3) 読書活動推進に関する活動調査	<p>① 児童館・子育て支援センター・保育園 調査対象：・児童館（6館） ・子育て支援センター（1館） ・保育園（6園） 調査方法：記述式のアンケート（調査票）を配布し、質問事項に対して回答</p> <p>② 小学校・中学校 調査対象：・小学校（6校） ・中学校（3校） 調査方法：記述式のアンケート（調査票）を配布し、質問事項に対して回答</p> <p>③ 高等学校 調査対象：・栄徳高等学校（1校） 調査方法：記述式のアンケート（調査票）を配布し、質問事項に対して回答</p>

4 調査期間

調査の種類	調査対象と調査方法
1) 子どもの読書についてのアンケート	令和3年（2021年）10月～11月
2) 市民団体、関係機関調査	<p>① 市民団体（ボランティア団体） 令和4年（2022年）4月9～28日</p> <p>② 関係機関 令和4年（2022年）5月24日</p>
3) 読書活動推進に関する活動調査	<p>① 児童館・子育て支援センター・保育園 令和3年（2021年）10月13日～12月10日</p> <p>② 小学校・中学校 令和4年（2022年）5月10～26日</p> <p>③ 高等学校 令和4年（2022年）5月10日</p>

5 回収状況

「子どもの読書についてのアンケート」に関して、回収状況は次のとおりです。

区 分	対象者数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
3・4・5歳児の保護者	1,073	295	27.5
小学2年生	762	755	99.1
小学4年生	751	751	100.0
小学6年生	741	686	92.6
中学2年生	608	586	96.4
合計	3,935	3,073	78.1

6 調査報告書の表記

- (1) 「子どもの読書についてのアンケート」について、回答結果は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入し、パーセント(%)で表記しています。そのため、数値の合計が100%にならない場合があります。
- (2) グラフ中の「n」は、回答者の母数を表しています。

第2章

調査結果

1

子どもの読書についてのアンケート

1-1 保育園保護者アンケート

(1) 通っている保育園

保育園保護者アンケート 質問 1	お子さんはどこの保育園に通っていますか？
---------------------	----------------------

保育園（6園）別の回収数は図表 1-1-1 のとおりです。

図表 1-1-1 保育園別、回収数

保育園	回収数（人）	割合（%）
上郷保育園	69	23.4
色金保育園	70	23.7
長湫東保育園	35	11.9
長湫西保育園	36	12.2
長湫北保育園	48	16.3
長湫南保育園	37	12.5
合計	295	100.0

(2) 園児のクラス(年齢)

保育園保護者アンケート 質問 2	お子さんは何歳児のクラスですか？
---------------------	------------------

園児の年齢別の回収数は、「3歳児」が99人（33.6%）、「4歳児」が76人（25.8%）、「5歳児」が120人（40.7%）となっています。

図表 1-1-2 クラス（年齢）別、回収数

保育園	回収数（人）	割合（%）
3歳児	99	33.6
4歳児	76	25.8
5歳児	120	40.7
合計	295	100.0

(3) 幼児期の読書経験

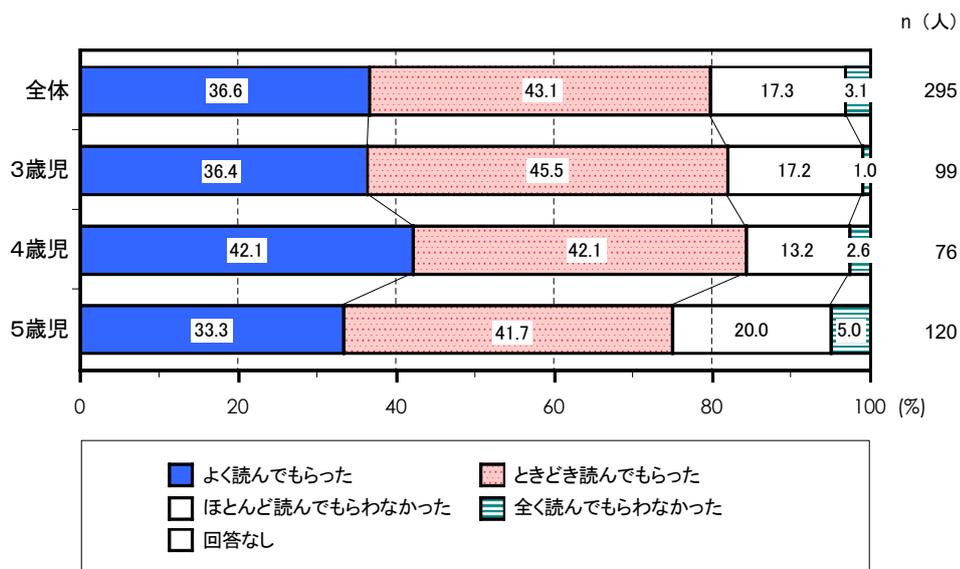
保育園保護者アンケート 質問 4	あなたは、幼い頃に家庭で家族と一緒に本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりした経験はありますか？
---------------------	---

全体では、「よく読んでもらった」が 36.6%で 3 割を大きく上回っており、「ときどき読んでもらった」の 43.1%と合わせるとほぼ 8 割 (79.7%) を占めています。

クラス (年齢) 別にみると、「よく読んでもらった」は 4 歳児の保護者が最も高く 42.1%です。次いで、3 歳児の保護者が 36.4%、5 歳児の保護者が 33.3%となっています。

「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた割合をみても、4 歳児の保護者が最も高く 84.2%を占めています。次いで、3 歳児の保護者が 81.9%、5 歳児の保護者が 75.0%となっています。

図表 1-1-3 クラス (年齢) 別、幼児期の読書経験



(4) 本が好きか

保育園保護者アンケート 質問 3	あなた自身は本が好きですか？
---------------------	----------------

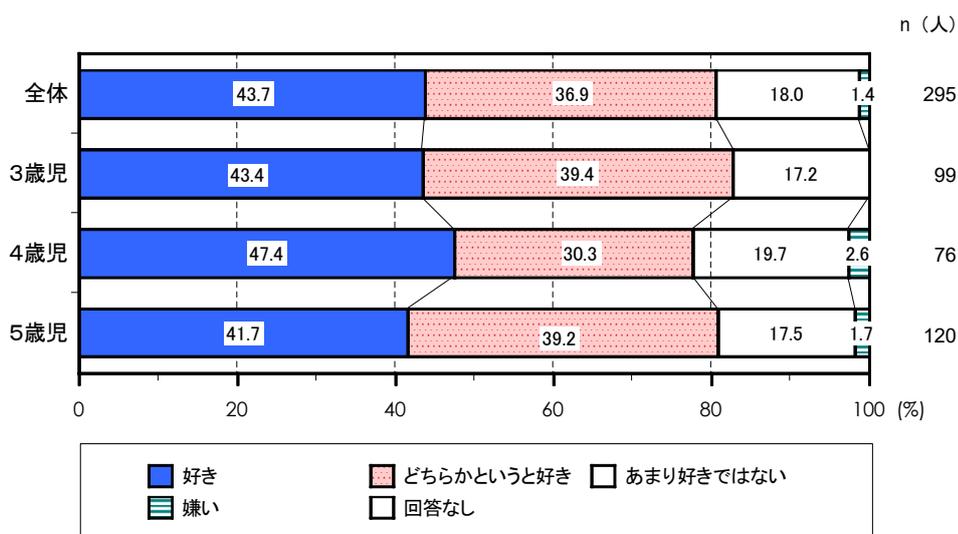
全体では、「好き」が 43.7%と 4 割を上回っており、「どちらかという好き」の 36.9%と合わせると約 8 割 (80.6%) となっています。

前回調査では、「好き」が 42.1%、「どちらかという好き」が 36.6%で、両者を合わせた割合は 78.7%でした。前回調査とほぼ同様の結果となっています。

クラス (年齢) 別にみると、「好き」は 4 歳児の保護者が最も高く 47.4%です。次いで、3 歳児の保護者が 43.4%、5 歳児の保護者が 41.7%となっています。

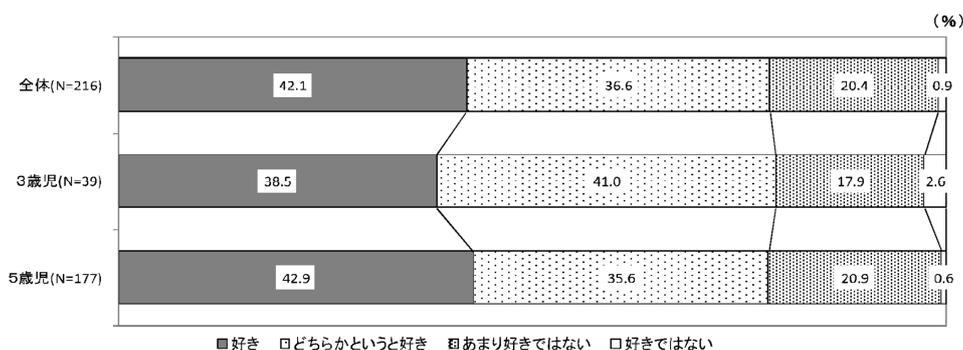
「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合をみると、3 歳児の保護者が最も高くなり 82.8%、次いで、5 歳児の保護者が 80.9%、4 歳児の保護者が 77.7%となっています。

図表 1-1-4 クラス (年齢) 別、本が好きか



《参考》

図表 1-1-5 クラス (年齢) 別、本が好きか [前回調査 (平成 29 年)]

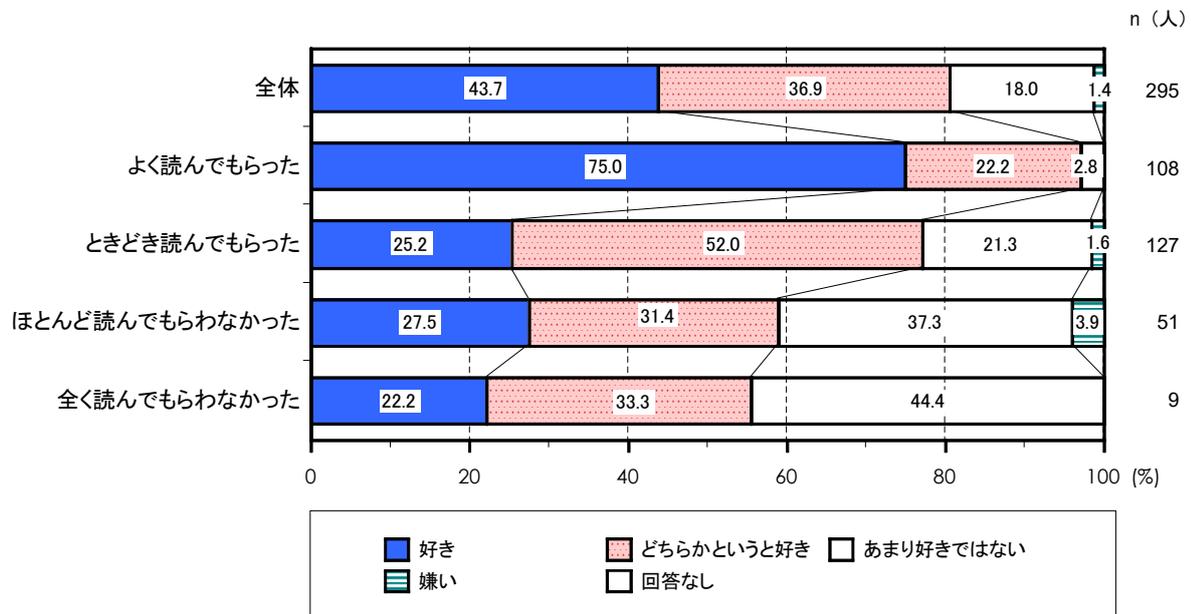


幼児期の読書経験別にみると、「好き」は、幼い頃に家庭で本を「よく読んでもらった」と回答した保護者は75.0%で、他と比べると非常に高い割合を示しています。「ときどき読んでもらった」では25.2%、「ほとんど読んでもらわなかった」では27.5%、「全く読んでもらわなかった」では22.2%となっています。

「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合をみると、「よく読んでもらった」では97.2%、「ときどき読んでもらった」では77.2%、「ほとんど読んでもらわなかった」では58.9%、「全く読んでもらわなかった」では55.5%です。

幼い頃に家庭で家族と一緒に本を読んだり、読み聞かせをしてもらったりした経験が豊かなほど、本が好きになるという傾向が顕著に表れています。

図表 1-1-6 幼児期の読書経験別、本が好きか



(5) 読み聞かせを始めた時期

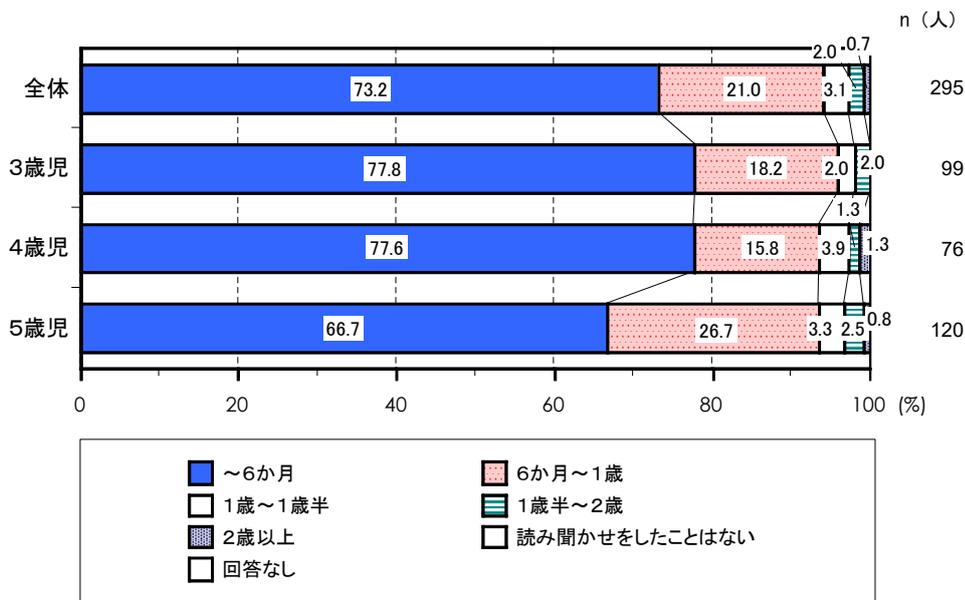
保育園保護者アンケート 質問 5-1	初めて家庭でお子さんに読み聞かせをした時期はいつですか？
-----------------------	------------------------------

全体では、「～6か月」が73.2%と最も高く7割を上回っています。次いで「6か月～1歳」が21.0%を占めており、大半の保護者（94.2%）は1歳になる前から読み聞かせをしています。

クラス（年齢）別にみると、「～6か月」は3歳児と4歳児の保護者がそれぞれ77.8%、77.6%と高く、5歳児の保護者では66.7%と相対的に低くなっています。

「～6か月」と「6か月～1歳」を合わせた割合は、3歳児の保護者が96.0%、4歳児と5歳児の保護者はともに93.4%となっています。

図表 1-1-7 クラス（年齢）別、読み聞かせを始めた時期

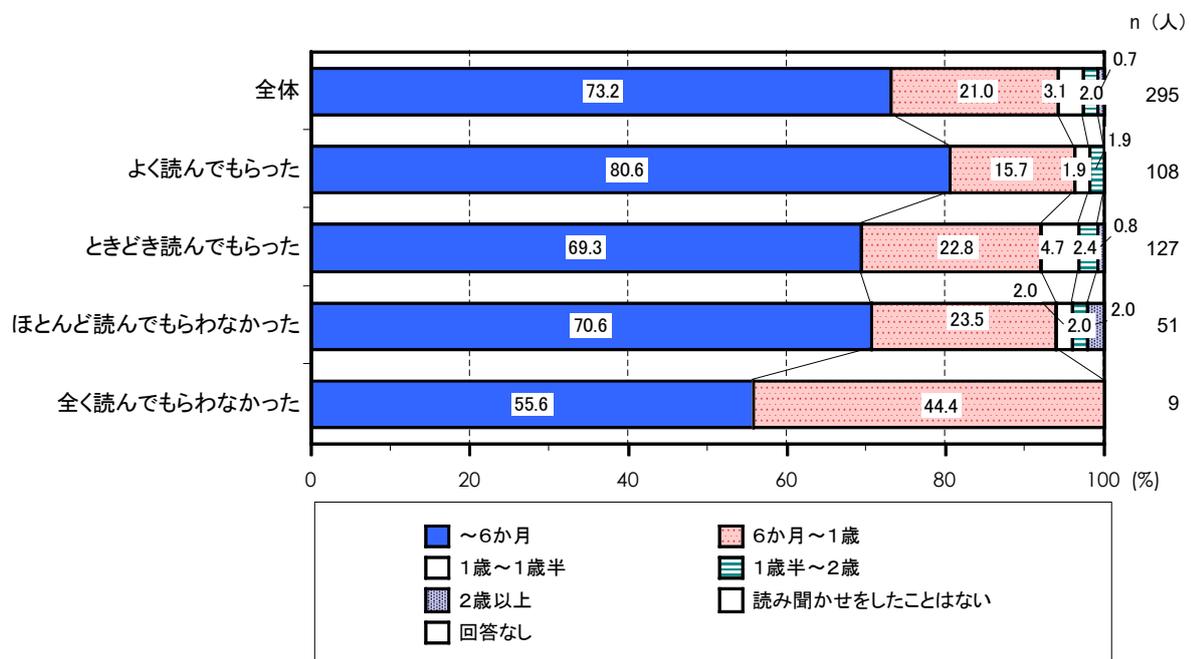


幼児期の読書経験別にみると、「～6か月」は、幼い頃に家庭で本を「よく読んでもらった」と回答した保護者は80.6%で、他と比べて高い割合を示しており、「ときどき読んでもらった」では69.3%、「ほとんど読んでもらわなかった」では70.6%、「全く読んでもらわなかった」では55.6%となっています。

「～6か月」と「6か月～1歳」を合わせた割合は、「よく読んでもらった」では96.3%、「ときどき読んでもらった」では92.1%、「ほとんど読んでもらわなかった」では94.1%となっています。

幼い頃の読書経験の違いによらず、1歳になる前には9割以上の保護者が読み聞かせを始めています。

図表 1-1-8 幼児期の読書経験別、読み聞かせを始めた時期

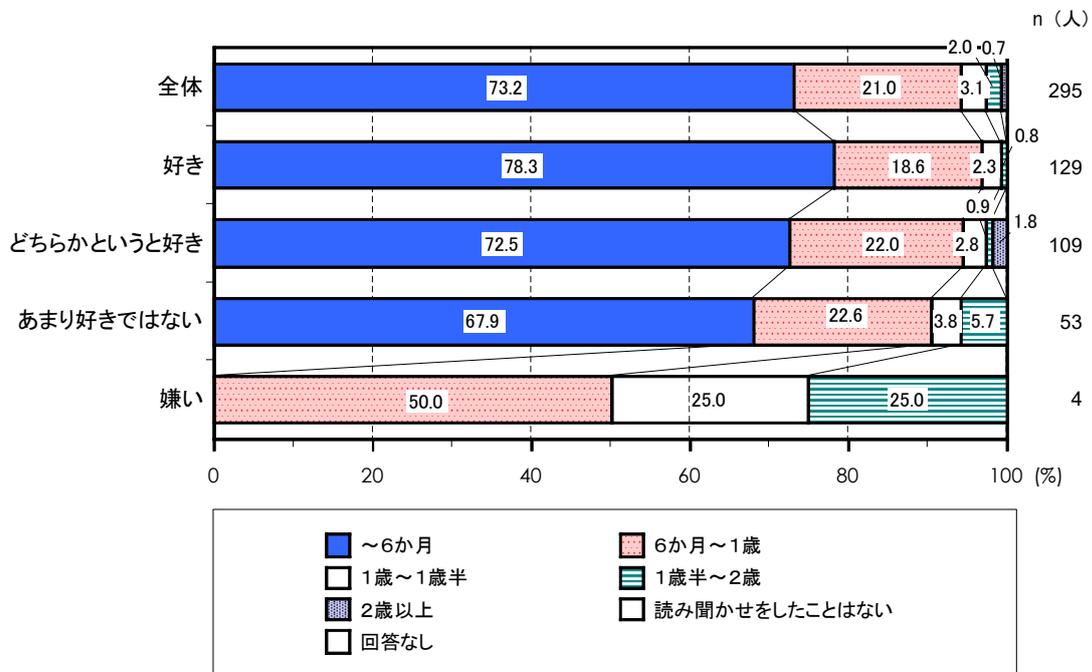


保護者自身が本好きかどうかの程度別に、読み聞かせを始めた時期をみると、本が「好き」と回答した保護者では、「～6か月」が78.3%と8割近くを占めており、「6か月～1歳」の18.6%を加えると、1歳になる前から読み聞かせをしている割合は96.9%とほぼ100%に近い割合となっています。

この割合は、本が「どちらかという好き」では94.5%、「あまり好きではない」では90.5%となっています。本が「好き」な保護者の方が、読み聞かせを始める時期が早いという傾向をみることができます。

なお、本が「嫌い」と回答した保護者は4人と少数であるため、他と単純に比較することはできませんが、「～6か月」は回答がなく、「6か月～1歳」は半数（50.0%）にとどまっています。

図表 1-1-9 本が好きか別、読み聞かせを始めた時期



(6) 読み聞かせをしていない理由

保育園保護者アンケート 質問 5-2	読み聞かせをしていない理由はなんですか？
-----------------------	----------------------

質問 5-1 で「6 読み聞かせをしたことはない」とした保護者はいませんでした。

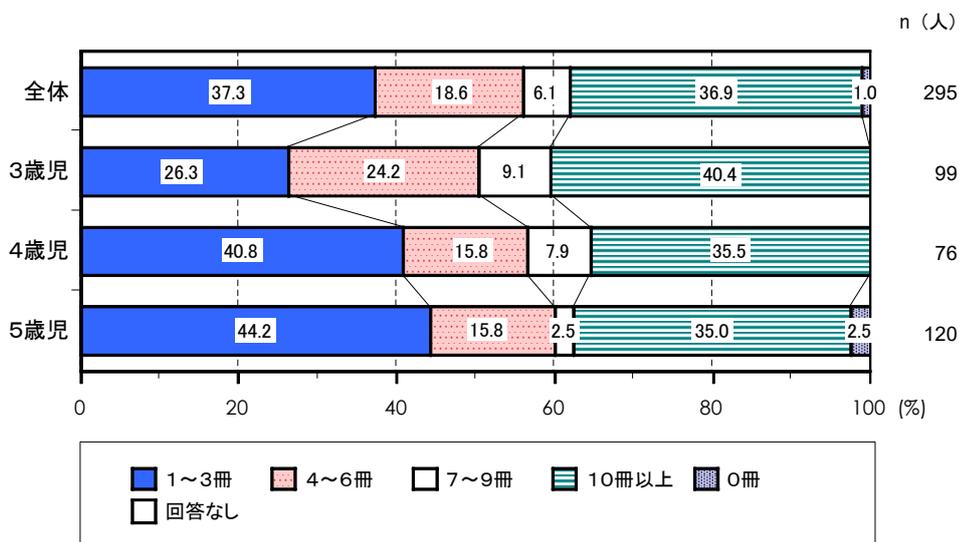
(7) 1か月に触れる本の冊数

保育園保護者アンケート 質問 6-1	お子さんは1か月にどれくらい本に触れますか？ (自分で読む、家族に読み聞かせてもらうなど)
-----------------------	--

全体では、「1～3冊」が37.3%、「10冊以上」が36.9%で、この両者が高い割合を占めています。次いで「4～6冊」が18.6%、「7～9冊」が6.1%となっています。「0冊」は1.0%でした。

クラス(年齢)別にみると、3歳児では「10冊以上」が最も高く40.4%と4割以上を占めています。一方、4歳児、5歳児では、「1～3冊」が最も多く、それぞれ40.8%、44.2%となっています。4歳児、5歳児と年齢が上がるにつれて「1～3冊」が増える傾向がみられます。

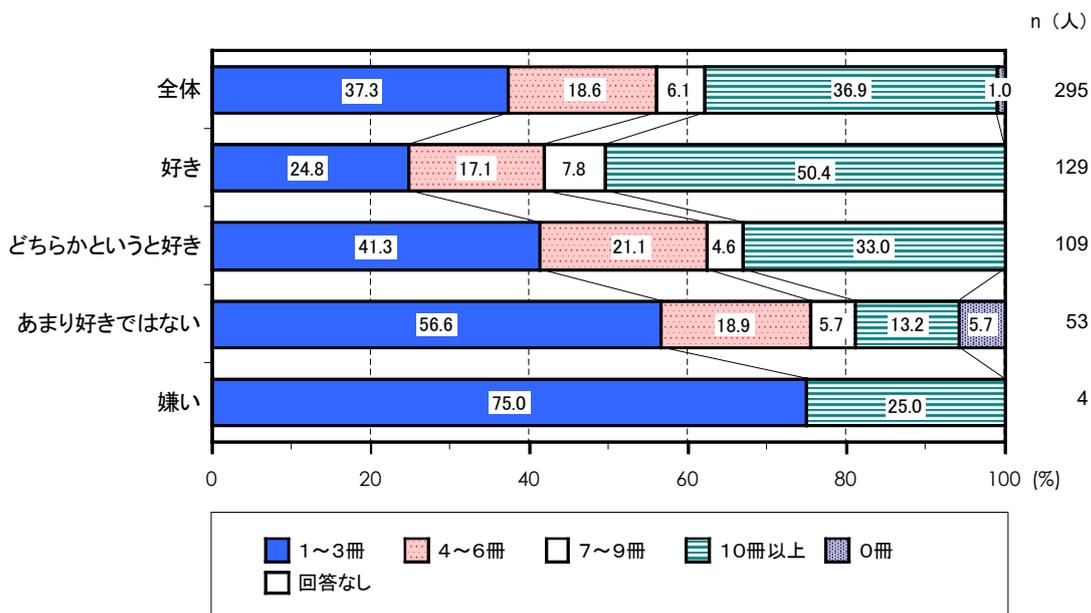
図表 1-1-10 クラス(年齢)別、1か月に触れる本の冊数



保護者自身が本好きかどうかの程度別に、1か月に触れる本の冊数をみると、本が「好き」と回答した者では、「10冊以上」が50.4%と半数を超えています。「どちらかというとき好き」と回答した者では、「10冊以上」は33.0%であり、さらに「あまり好きではない」では13.2%と低くなっています。

また、本が「好き」と回答した者では、「1～3冊」は24.8%と少数ですが、「どちらかというとき好き」と回答した者では41.3%、さらに「あまり好きではない」では56.6%と徐々に高くなっています。

図表 1-1-11 本が好きか別、1か月に触れる本の冊数



(8) お子さんが本に触れない理由

保育園保護者アンケート 質問 6-2	質問 6-1 で「0 冊」と回答した方にお尋ねします。 お子さんが本に触れない理由はなんですか？
-----------------------	---

質問 6-1 で、お子さんが 1 か月に触れる本の冊数を「0 冊」と回答した保護者は 3 人（1.0%）でした。

その理由は「他のことに興味がある」となっています。

図表 1-1-12 お子さんが本に触れない理由

区分	回答数（人）	割合（%）
本を読むことが好きではないと思う	0	0.0
他のことに興味がある	3	100.0
身近に本がない	0	0.0
読み聞かせてくれる人がいない	0	0.0
その他	0	0.0
合計	3	100.0

※ 回答者 3 人はいずれも 5 歳児の保護者。いずれも保護者は本が「あまり好きではない」と回答。

(9) お子さんの関心事

保育園保護者アンケート 質問 6-3	質問 6-2 で「他のことに興味がある」と回答した方にお尋ねします。お子さんは何に関心がありますか？ (例：ゲームなど)
-----------------------	---

質問 6-2 で「2 他のことに興味がある」とした方は 3 人でした。何に関心があるかについては回答がありませんでした。

<関心のあること>

・ 回答なし

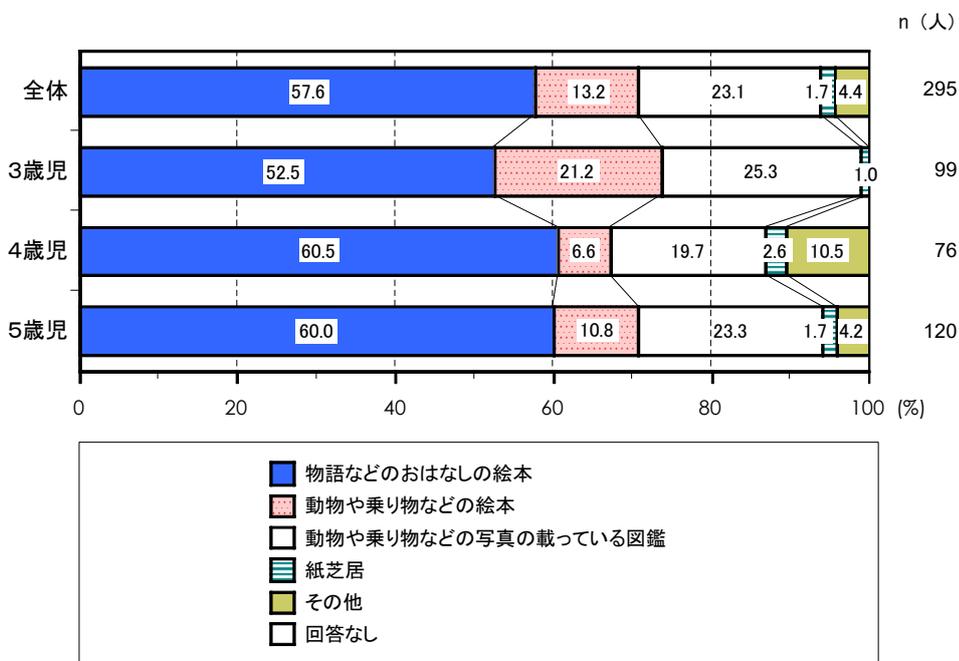
(10) 興味のある本

保育園保護者アンケート 質問 7	お子さんは、どのような本に興味がありますか？
---------------------	------------------------

全体では、「物語などのおはなしの絵本」が 57.6%と最も高く、次いで、「動物や乗り物などの写真の載っている図鑑」が 23.1%、「動物や乗り物などの絵本」が 13.2%となっています。「紙芝居」は 1.7%と少数で、「その他」は 4.4%でした。

クラス（年齢）別にみると、3歳児では「物語などのおはなしの絵本」が 52.5%で、4歳児・5歳児と比べやや低くなっており、一方、「動物や乗り物などの絵本」が 21.2%で相対的に高くなっています。

図表 1-1-13 クラス（年齢）別、興味のある本



(11) 中央図書館の利用頻度

保育園保護者アンケート 質問 8	お子さんと一緒に中央図書館を、どの程度利用していますか？
---------------------	------------------------------

全体では、「利用しない」が36.6%で最も高く、次いで、「数か月に1回」が35.9%です。一方、「毎週」は3.1%、「月に2～3回」は16.6%、「月に1回」は7.8%でした。

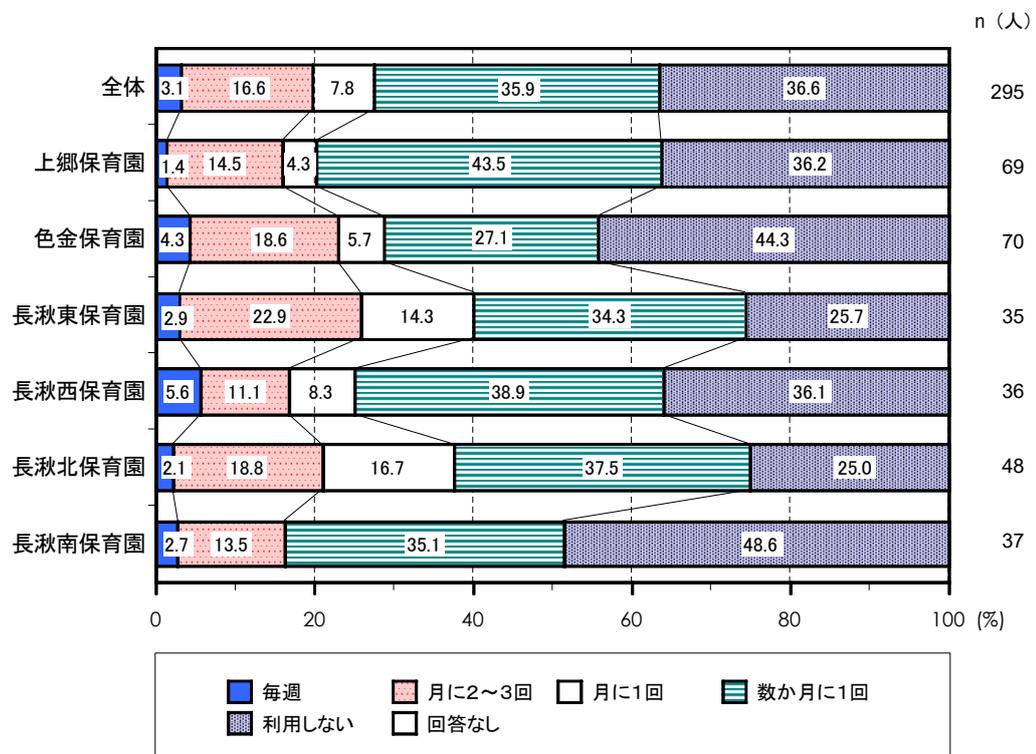
中央図書館を日常的に利用（月に1回以上利用）しているのは27.5%と3割弱で、7割以上（72.5%）は中央図書館を日常的に利用していません。

中央図書館を日常的に利用（月に1回以上利用）している割合を、保育園別にみると、長湫東保育園が40.1%、長湫北保育園が37.6%で、この2園は利用頻度が高くなっています。次いで、色金保育園の28.6%、長湫西保育園の25.0%となっています。

これらの保育園と比べると、中央図書館から距離的に離れた上郷保育園では20.2%、長湫南保育園では16.2%と相対的に低くなっています。

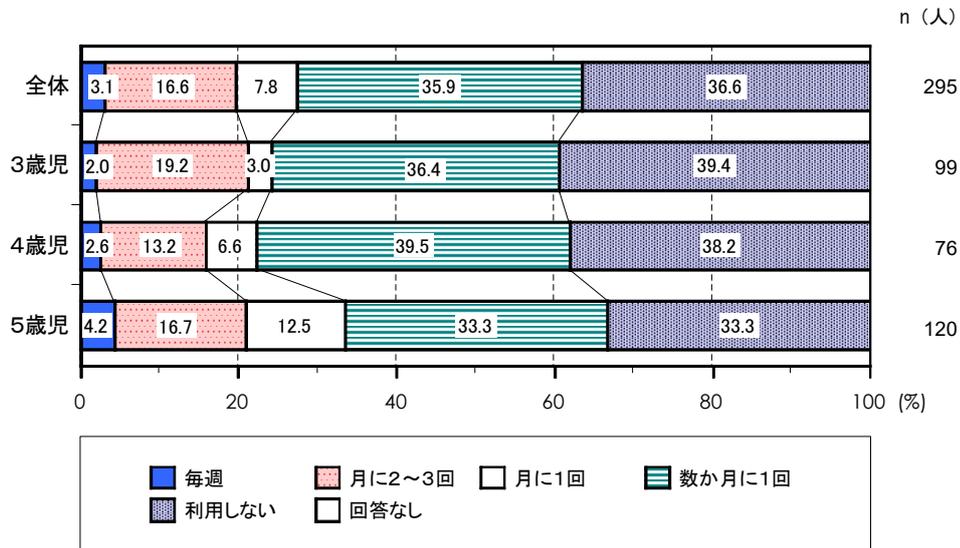
なお、「利用しない」が高いのは、長湫南保育園の48.6%、色金保育園の44.3%となっています。

図表 1-1-14 保育園別、中央図書館の利用頻度



クラス（年齢）別にみると、中央図書館を日常的に利用（月に1回以上利用）している割合は、3歳児では24.2%、4歳児では22.4%とやや低く、5歳児になると33.4%と相対的に高くなっています。

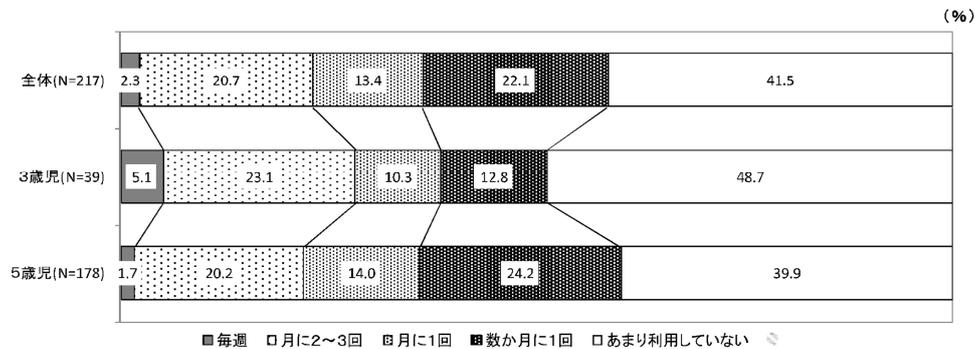
図表 1-1-15 クラス（年齢）別、中央図書館の利用頻度



《参考》

図表 1-1-16 クラス（年齢）別、中央図書館や児童館などの図書室の利用頻度

[前回調査（平成29年）]

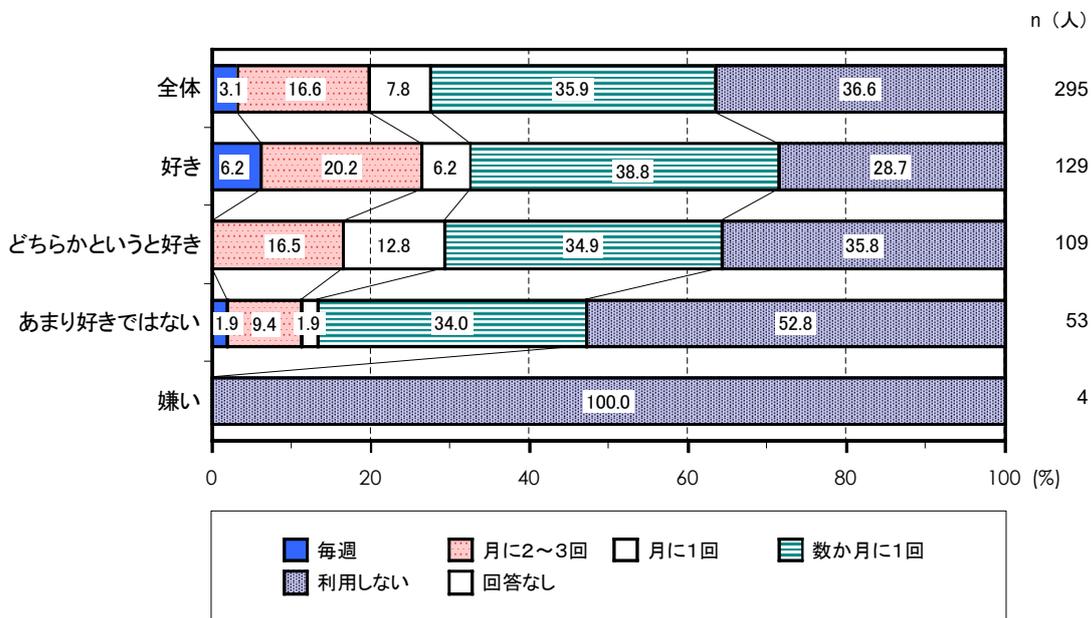


保護者自身が本好きかどうかの程度別に、中央図書館の利用頻度をみると、本が「好き」と回答した者では、「毎週」が6.2%、「月に2～3回」が20.2%、「月に1回」が6.2%で、中央図書館を日常的に利用（月に1回以上利用）している割合は32.6%と3割を上回っています。

本が「どちらかという好き」と回答した者では、この割合は29.3%と3割近くを占めていますが、「あまり好きではない」と回答した者では13.2%と低くなっています。

本が「好き」な方ほど、中央図書館を利用する頻度が高いという傾向がみられます。

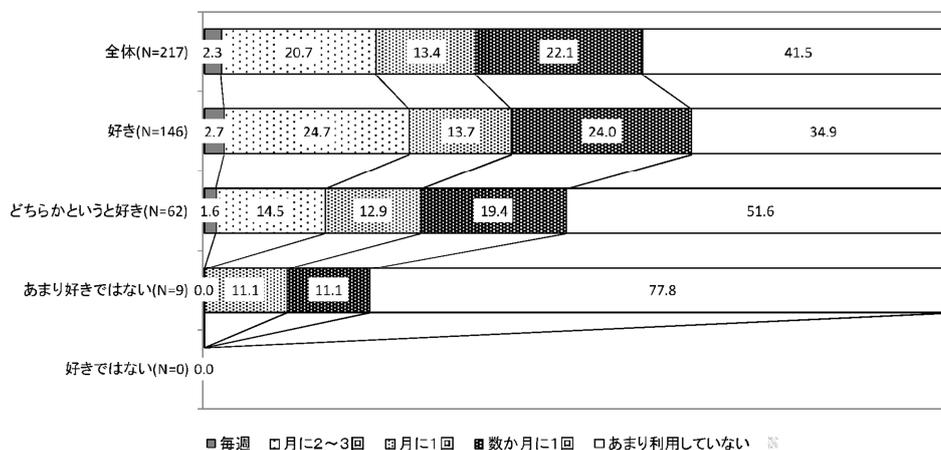
図表 1-1-17 本が好きか別、中央図書館の利用頻度



《参考》

図表 1-1-18 本が好きか別、中央図書館や児童館などの図書室の利用頻度

[前回調査 (平成 29 年)]



(12)中央図書館ホームページの閲覧項目

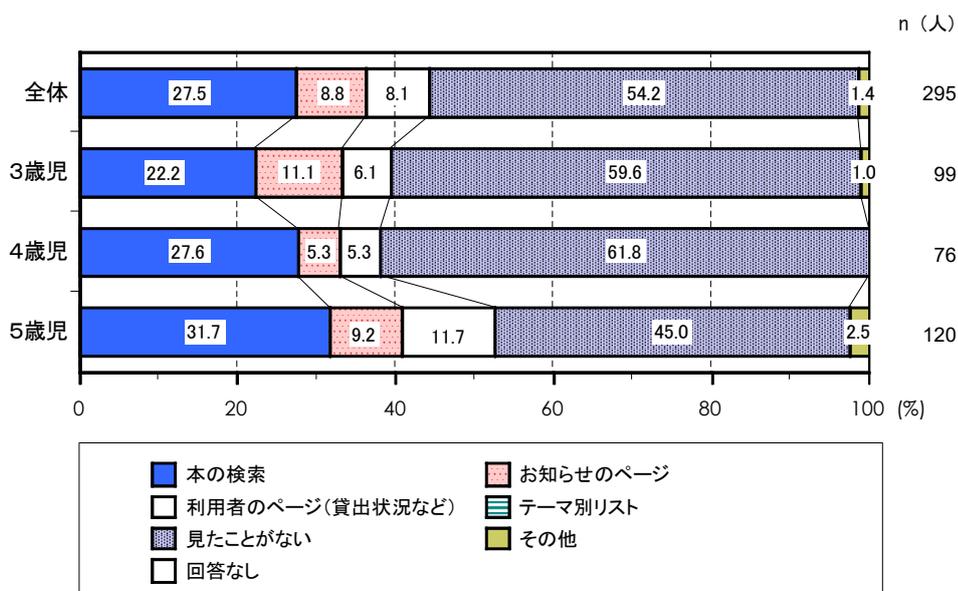
保育園保護者アンケート 質問 9	中央図書館のホームページのどの項目をよく見ますか？
---------------------	---------------------------

全体では、「見たことがない」が最も高く半数以上（54.2%）を占めています。次いで、「本の検索」が27.5%、「お知らせのページ」が8.8%、「利用者のページ（貸出状況など）」が8.1%となっています。なお、「その他」は1.4%、「テーマ別リスト」は0.0%でした。

クラス（年齢）別にみると、いずれのクラスでも「見たことがない」が最も高く、3歳児では59.6%、4歳児では61.8%です。5歳児になると45.0%となり相対的にやや低くなっています。

「本の検索」については、3歳児で22.2%、4歳児で27.6%、5歳児で31.7%であり、年齢が高くなるにつれて高くなる傾向がみられます。

図表 1-1-19 クラス（年齢）別、中央図書館ホームページの閲覧項目



(13) 本の入手方法

保育園保護者アンケート 質問 10	お子さんの本をどのようにして手に入れていますか？
----------------------	--------------------------

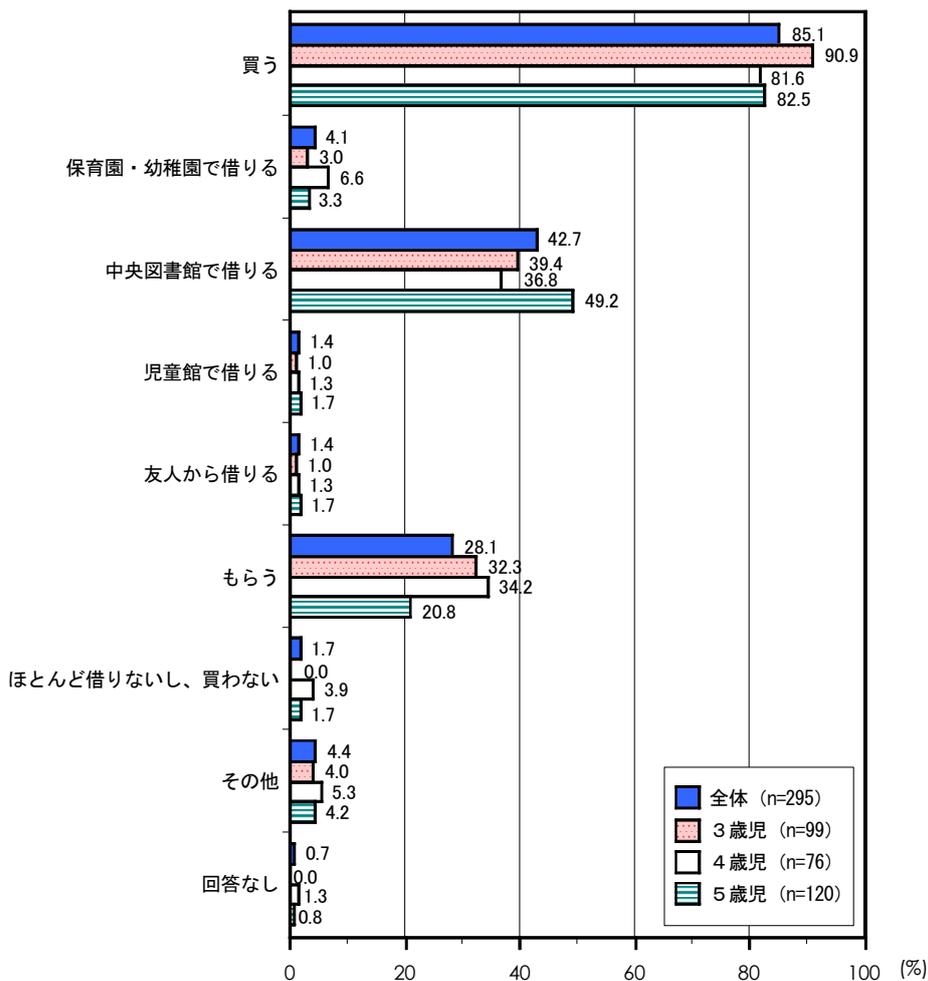
本の入手方法としては、「買う」が最も多く 85.1%で、次いで「中央図書館で借りる」が 42.7%、「もらう」が 28.1%となっています。

「保育園・幼稚園で借りる」は 4.1%、「児童館で借りる」は 1.4%、「友人から借りる」は 1.4%で、これらはいずれも少数でした。

クラス別にみると、3 歳児では「買う」が 90.9%で 9 割以上の高い割合を示しています。一方、5 歳児では「中央図書館で借りる」が 49.2%となり、3 歳児や 4 歳児とは 10 ポイント以上高い割合を示しています。

また、「もらう」については、5 歳児では 20.8%と低いのに対して、3 歳児は 32.3%、4 歳児では 34.2%を示しており、3 歳児・4 歳児では本をもらっている割合がやや高くなっています。

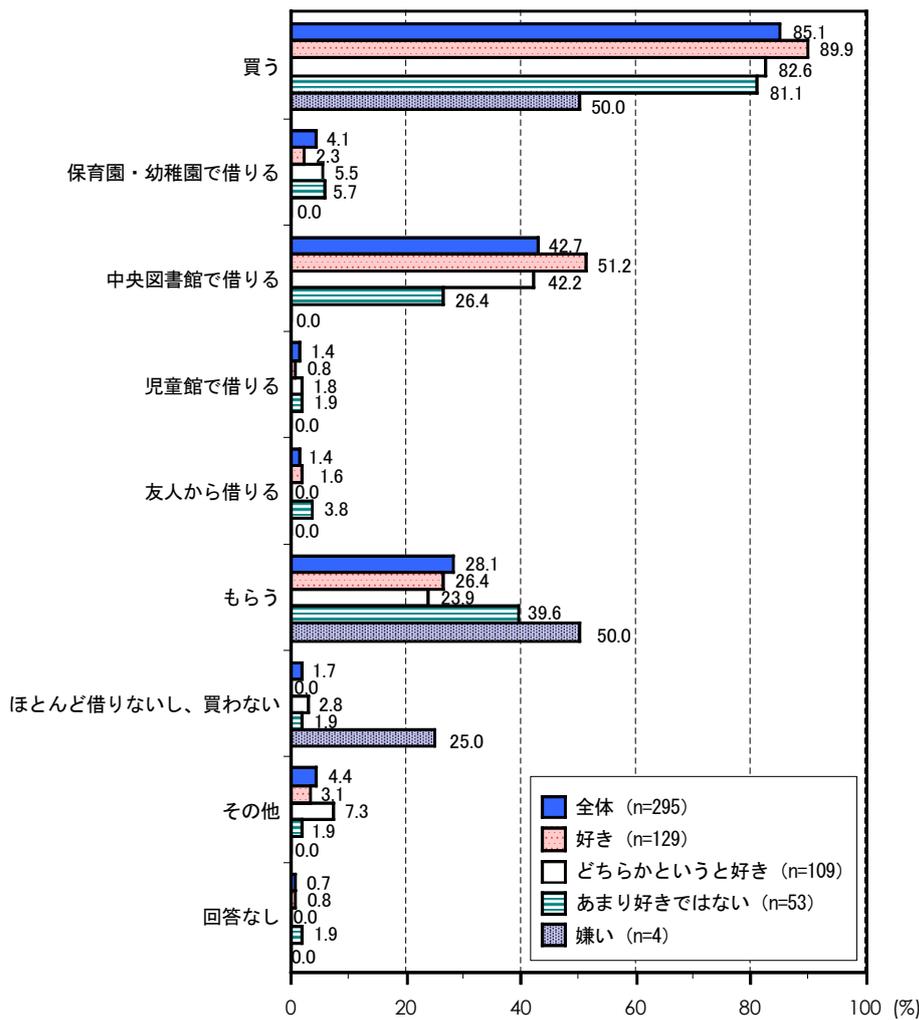
図表 1-1-20 クラス（年齢）別、本の入手方法 - 複数回答 -



保護者自身が本好きかどうかの程度別に本の入手方法をみると、本が「好き」と回答した者では、「買う」が89.9%で全体の85.1%を4.8ポイント上回っています。また、「中央図書館で借りる」も51.2%で全体の42.7%を8.5ポイント上回っています。本が「好き」な方ほど、本を購入したり、中央図書館を利用したりする割合が高いという傾向がみてとれます。

一方、本が「あまり好きではない」と回答した者では、本を「もらう」は39.6%と高く、全体の28.1%を11.5ポイントも上回っています。

図表 1-1-21 本が好きか別、本の入手方法 - 複数回答 -



(14)児童館の図書室の利用頻度

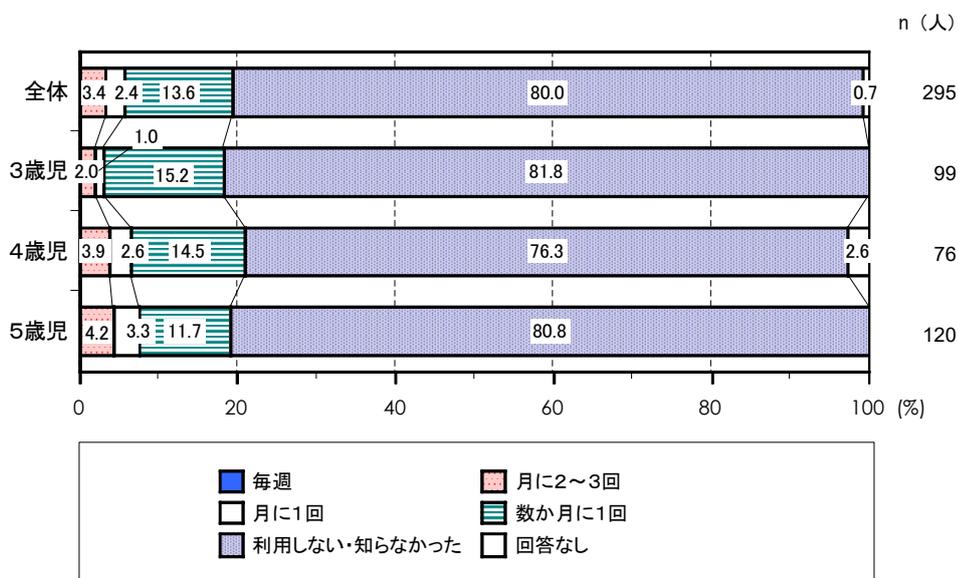
保育園保護者アンケート
質問 11

児童館の図書室をどの程度利用していますか？

児童館の図書室の利用頻度については、「利用しない・知らなかった」が80.0%を占めており、児童館の図書室を利用しているのは2割にとどまっています。児童館の図書室を利用している場合でも、「月に2～3回」が3.4%、「月に1回」が2.4%、「数か月に1回」が13.6%で、「毎週」は回答なし(0.0%)でした。児童館の図書室を日常的に利用(月に1回以上利用)している割合は5.8%となっています。

クラス(年齢)別にみると、児童館の図書室を日常的に利用(月に1回以上利用)している割合は、3歳児が3.0%、4歳児が6.5%、5歳児が7.5%です。4歳児や5歳児になるとわずかに利用頻度が高くなっています。

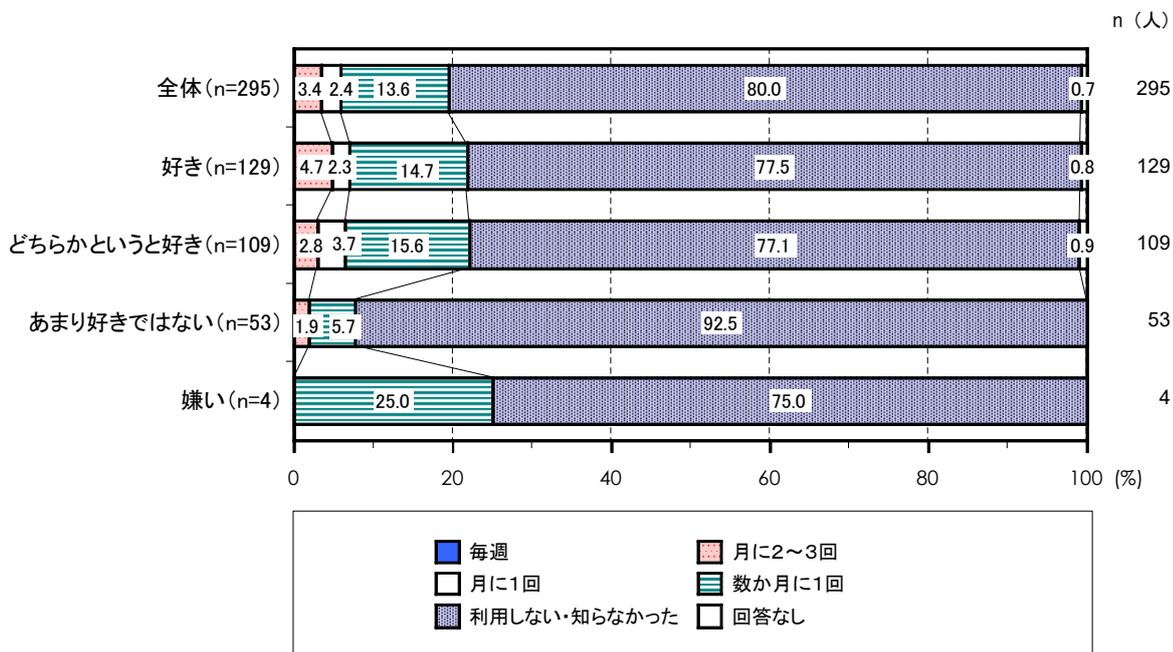
図表 1-1-22 クラス(年齢)別、児童館の図書室の利用頻度



保護者自身が本好きかどうかの程度別に児童館の図書室の利用頻度をみると、本が「好き」または「どちらかという好き」と回答した者では、「利用しない・知らなかった」はそれぞれ77.5%、77.1%で大差はありません。また、「月に2～3回」と「月1回」を合わせた日常的に利用（月に1回以上利用）している割合も7.0%、6.5%で大差はありません。

一方、本が「あまり好きではない」と回答した者では、「利用しない・知らなかった」は92.5%と9割以上を占めており、日常的に利用（月に1回以上利用）している割合は1.9%とごくわずかにとどまっています。

図表 1-1-23 本が好きか別、児童館の図書室の利用頻度



1-2 小学生・中学生アンケート

(1) 通っている学校

小学生アンケート 質問 1	あなたはどこの小学校に通っていますか？
中学生アンケート 質問 1	あなたはどこの中学校に通っていますか？

学校別の回収数は図表 1-2-1 のとおりです。

図表 1-2-1 学校別、回収数

区 分	学 校	回収数 (人)	割合 (%)
小学校	長久手小学校	299	13.6
	西小学校	261	11.9
	東小学校	230	10.5
	北小学校	553	25.2
	南小学校	334	15.2
	市が洞小学校	515	23.5
	合計	2,192	100.0
区 分	学 校	回収数 (人)	割合 (%)
中学校	長久手中学校	123	21.0
	南中学校	261	44.5
	北中学校	202	34.5
	合計	586	100.0

(2) 学年

小学生アンケート 質問 2	あなたは何年生ですか？
---------------	-------------

「2年生」が755人(34.4%)、「4年生」が751人(34.3%)、「6年生」が686人(31.3%)となっています。

図表 1-2-2 学年別、回収数 [小学校のみ]

学年	回収数 (人)	割合 (%)
2年生	755	34.4
4年生	751	34.3
6年生	686	31.3
合計	2,192	100.0

(3) 就学前に本を読んでもらった経験

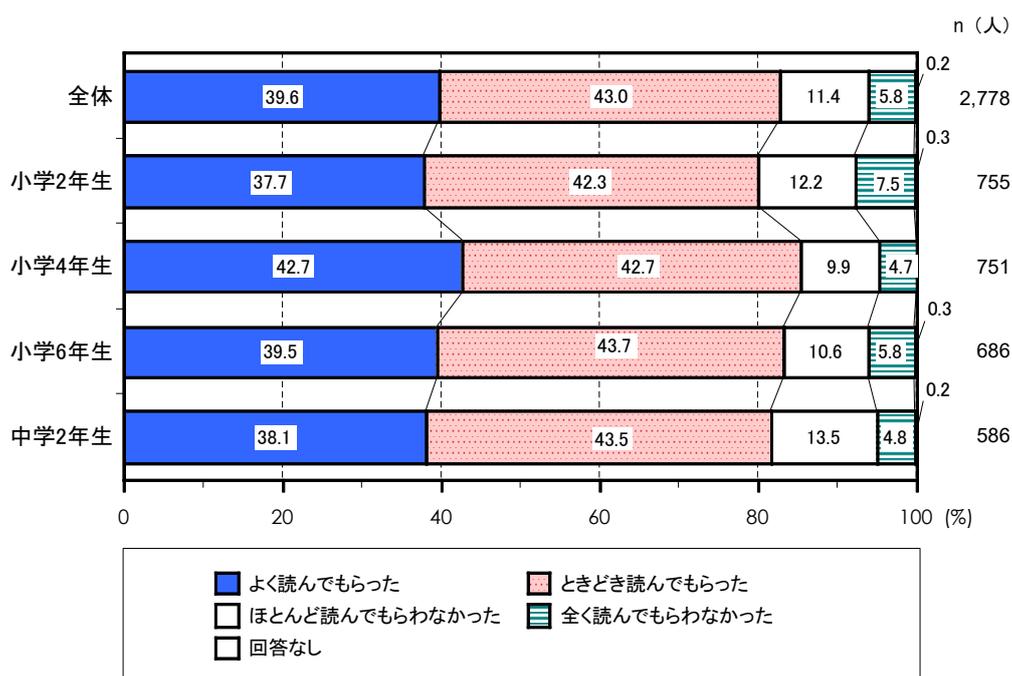
小学校アンケート 質問 4	小学生になるまでに家で本を読んでもらったことがありますか？
中学校アンケート 質問 3	

全体では、「よく読んでもらった」が 39.6%、「ときどき読んでもらった」が 43.0%で、両者を合わせた割合は 79.9%となっています。児童・生徒の約 8 割は『読んでもらった』と回答しています。

学年別にみたとき、「よく読んでもらった」は小学 2 年生では 37.7%、小学 4 年生では 42.7%、小学 6 年生では 39.5%、中学 2 年生では 38.1%となっています。学年による顕著な相違はみられません。

また、「よく読んでもらった」と「ときどき読んでもらった」を合わせた割合を順にみていくと、小学 2 年生では 80.0%、小学校 4 年生では 85.4%、小学 6 年生では 83.2%、中学 2 年生では 81.6%となっています。これをみても学年による顕著な相違はみられません。

図 1-2-3 学年別、就学前に本を読んでもらった経験



(4) 読書が好きか

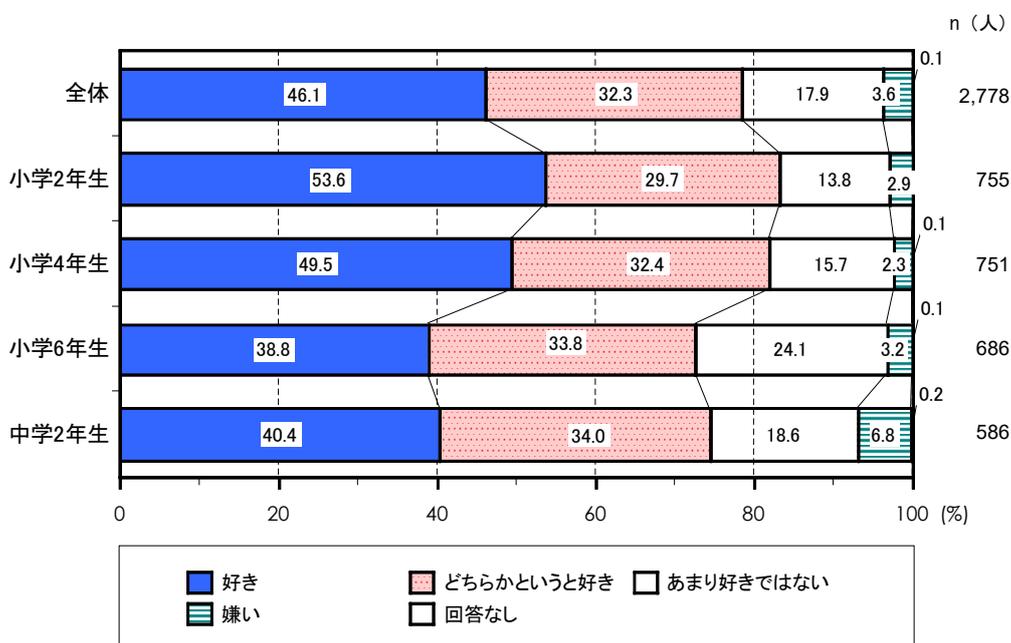
小学校アンケート 質問 3	あなたは読書が好きですか？
中学校アンケート 質問 2	

全体では、「好き」が46.1%、「どちらかという好き」が32.3%で、両者を合わせた割合は78.4%となっています。児童・生徒の8割近くが読書は『好き』と回答しています。

学年別にみると、小学2年生では「好き」が53.6%、小学校4年生では49.5%で、小学2・4年生では概ね半数が「好き」と回答しています。一方、小学6年生では「好き」は38.8%、中学2年生では40.4%となっており、ともに4割程度となっています。読書が「好き」の割合は小学4年生と6年生を境に10ポイント程度低下しています。

また、「好き」と「どちらかという好き」を合わせた割合を順にみていくと、小学2年生では83.3%、小学校4年生では81.9%、小学6年生では72.6%、中学2年生では74.4%となっています。小学6年生では「あまり好きではない」が24.1%、中学2年生では「嫌い」が6.6%と、ともにやや高い割合を示しています。

図表 1-2-4 学年別、読書が好きか



前回調査（平成 29 年）と比較すると、全体では、読書が「好き」は前回の 51.6%から 46.1%となっており、5.5 ポイント低くなっています。

学年の対象が前回と今回では異なる部分がありますが、学年別に「好き」の割合を前回と比較すると、前回の小学 1 年生は 68.2%に対し今回の小学 2 年生は 53.6%、前回の小学 3 年生は 52.6%に対し今回の小学 4 年生は 49.5%で、それぞれ 14.6 ポイント、3.1 ポイントの低下となっています。

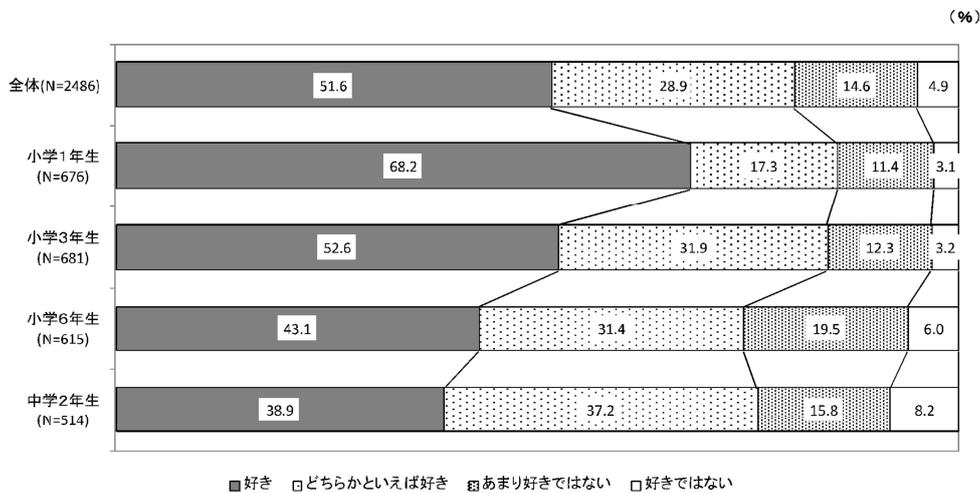
小学 6 年生では前回の 43.1%に対し今回は 38.8%、中学 2 年生では前回の 38.9%に対し今回 40.4%となっています。前回調査との比較でみると小学生で読書が「好き」の割合が低下しています。

なお、読書が「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合を前回調査と比較してみると、小学 2 年生（前回は 1 年生）は 85.5%から 83.3%と 2.2 ポイントの低下、小学 4 年生（前回は 3 年生）は 84.5%から 81.9%と 2.6 ポイントの低下、小学 6 年生は 74.5%から 72.6%と 1.9 ポイントの低下となっています。また、中学 2 年生も 76.1%から 74.4%と 1.7 ポイントの低下となっています。

総じて、小学生・中学生ともに、読書が「好き」または「どちらかといえば好き」と回答する者の割合が低下している傾向がうかがえます。

《参考》

図表 1-2-5 学年別、読書が好きか [前回調査 (平成 29 年)]



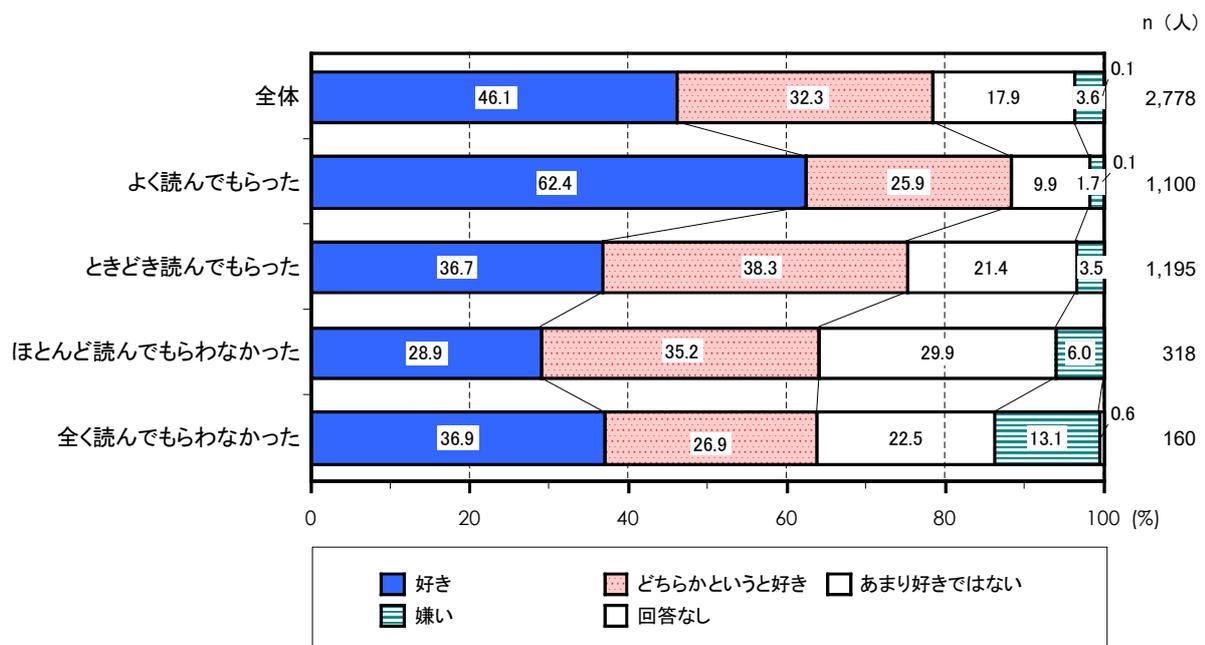
就学前に本を読んでもらった別に、読書が好きかをみていくと、就学前に「よく読んでもらった」児童・生徒では、読書が「好き」の割合が62.4%を占めており、全体の46.1%よりも16.3ポイントも高くなっています。

「ときどき読んでもらった」では36.7%、「ほとんど読んでもらわなかった」では28.9%となっており、「よく読んでもらった」の62.4%と比べると、それぞれ25.7ポイント、33.5ポイントも低くなっています。

また、読書が「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた割合を就学前に本を読んでもらった経験別にみると、「よく読んでもらった」では88.3%、「ときどき読んでもらった」では75.0%、「ほとんど読んでもらわなかった」では64.1%、「全く読んでもらわなかった」では63.8%となっています。「よく読んでもらった」と「全く読んでもらわなかった」の間では24.5ポイントの差が生じています。

総じて、就学前に本を読んでもらった経験が読書「好き」につながっている傾向をはっきりとみることができます。

図表 1-2-6 就学前に本を読んでもらった経験別、読書が好きか



(5) 1か月に読む本の冊数

小学校アンケート 問9-1	あなたは1か月にどれくらい本を読みますか？
中学校アンケート 問8-1	

全体では、「10冊以上」が26.1%、「3冊から5冊」が24.0%、「1冊から2冊」が22.5%で、これら上位3つはいずれも20%台で肩を並べています。

学年別にみると、小学2年生や小学4年生では、「10冊以上」がそれぞれ36.0%、34.0%と30%台を示し、次いで「3冊から5冊」が22.3%、24.1%で高くなっています。

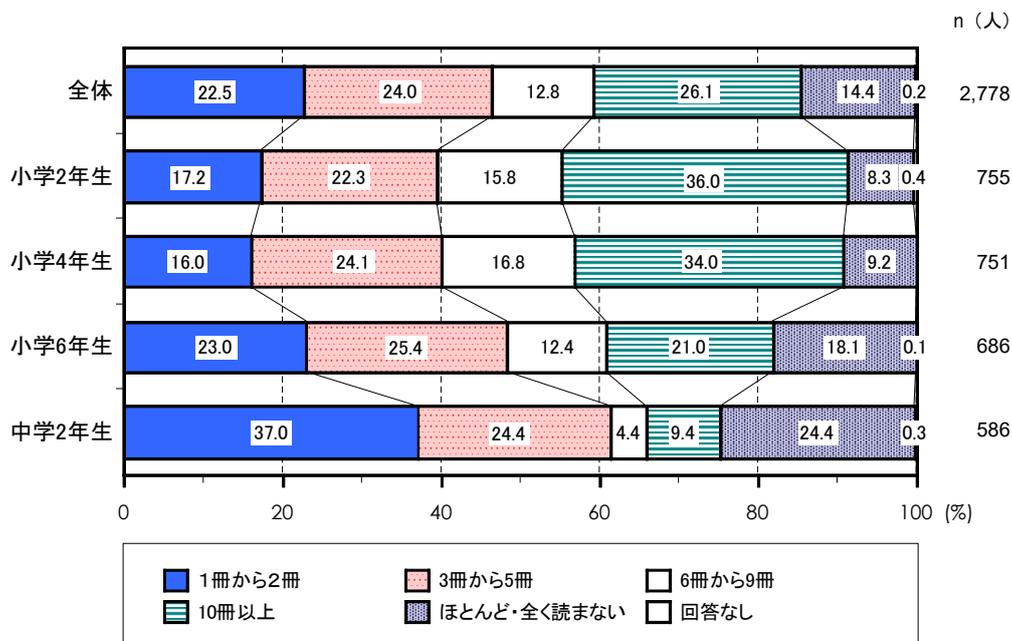
小学6年生になると、「10冊以上」は21.0%とやや低下し、「3冊から5冊」が25.4%、「1冊から2冊」が23.0%と高くなっています。

さらに中学2年生になると、「10冊以上」は9.4%にまで低下し、「1冊から2冊」が37.0%で最も高くなっています。

小学2年生や小学4年生では「10冊以上」、小学6年生では「3冊から5冊」、中学2年生では「1冊から2冊」が1か月に読む本の冊数の最頻値となっています。

なお、小学6年生では「ほとんど・全く読まない」が18.1%を占め、中学2年生になるとその割合は24.4%と高くなっています。中学2年生では4人に1人の割合で本を読まなくなっています。

図表 1-2-7 学年別、1か月に読む本の冊数



前回調査（平成 29 年）と比較すると、全体では、「10 冊以上」が前回の 21.8%から今回は 26.1%となっており、4.3 ポイント高くなっています。同様に「3 冊から 5 冊」は 19.2%が 24.0%と 4.8 ポイント、「6 冊から 9 冊」も 11.2%から 12.8%と 1.6 ポイント高くなっています。

「1 冊から 2 冊」は 23.1%が 22.5%とほぼ横ばいで、逆に、「ほとんど・全く読まない（前回は「ほとんど読まない）」は前回の 24.7%から 14.4%となっており 10.3 ポイント低くなっています。

学年別に比較すると、小学 2 年生（前回は小学 1 年生）では、「1 冊から 2 冊」が前回は 24.7%でしたが今回は 17.2%で 7.5 ポイント低下し、「10 冊以上」が 30.4%から 36.0%と 5.6 ポイント高くなっています。

小学 4 年生（前回は小学 3 年生）では、「3 冊から 5 冊」が 18.2%から 24.1%と 5.9 ポイント高くなっており、「10 冊以上」も 31.3%から 34.0%と 2.7 ポイント高くなっています。

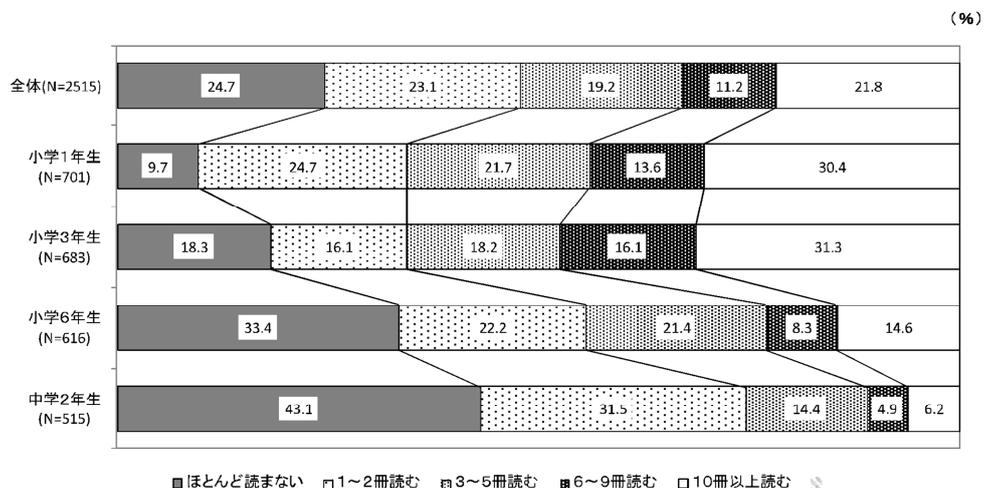
小学 6 年生では、前回は「ほとんど読まない」が 33.4%を示していましたが、今回（「ほとんど・全く読まない」）は 18.1%で、15.3 ポイントも低下しています。「6 冊から 9 冊」は 8.3%から 12.4%と 4.1 ポイント高くなっており、「10 冊以上」は 14.6%から 21.0%と 6.4 ポイントも高くなっています。

中学 2 年生でも同様の傾向がみられ、前回は「ほとんど読まない」が 43.1%と高い割合を示していましたが、今回（「ほとんど・全く読まない」）は 24.4%で、18.7 ポイントも低下しています。逆に「1 冊から 2 冊」は 31.5%から 37.0%と 5.5 ポイント高くなっており、「3 冊から 5 冊」でも 14.4%から 24.4%と 10.0 ポイントも高くなっています。

総じて、前回調査と比較すると、1 か月に読む本の冊数は大きく伸びています。

《参考》

図表 1-2-8 学年別、1 か月に読む本の冊数 [前回調査（平成 29 年）]



読書が好きかどうかの程度別に、1か月に読む本の冊数をみると、本が「好き」と回答した児童・生徒では、「10冊以上」が43.4%と最も多くを占め、全体の26.1%を17.3ポイントも上回っています。「6冊から9冊」も16.6%で全体の12.8%を3.8ポイント上回っています。本が「好き」と回答した児童・生徒は読む本の冊数が明らかに多くなっています。

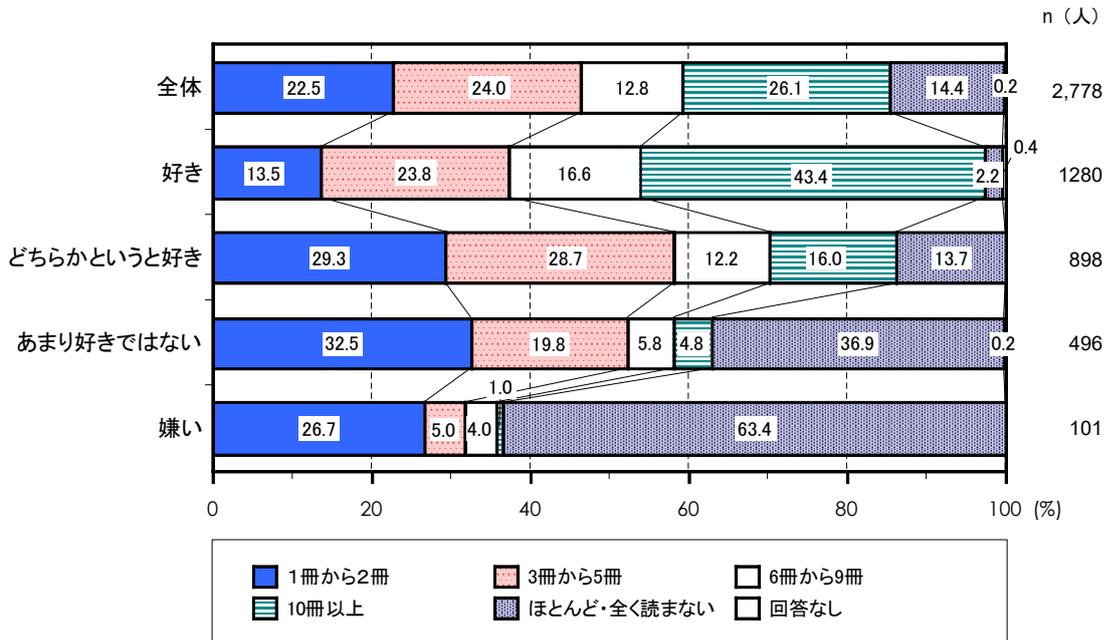
「どちらかという好き」と回答した児童・生徒では、「1冊から2冊」が29.3%、「3冊から5冊」が28.7%と多くを占め、これらが全体よりもそれぞれ6.8ポイント、4.7ポイント上回っています。

「あまり好きではない」と回答した児童・生徒では、「ほとんど・全く読まない」が36.9%と最も多くを占め、次いで「1冊から2冊」が32.5%となっています。

さらに「嫌い」と回答した児童・生徒では、「ほとんど・全く読まない」が63.4%と6割以上を占めています。

読書が「好き」な児童・生徒は読む本の冊数が多い一方で、「嫌い」な児童・生徒はほとんど・全く本を読んでいないといった傾向が端的に表れています。

図表 1-2-9 読書が好きか別、1か月に読む本の冊数



前回調査（平成 29 年）と比較すると、読書が「好き」と回答した児童・生徒については、「10 冊以上」が前回の 35.5%から今回は 43.4%となっており、7.9 ポイント高くなっています。

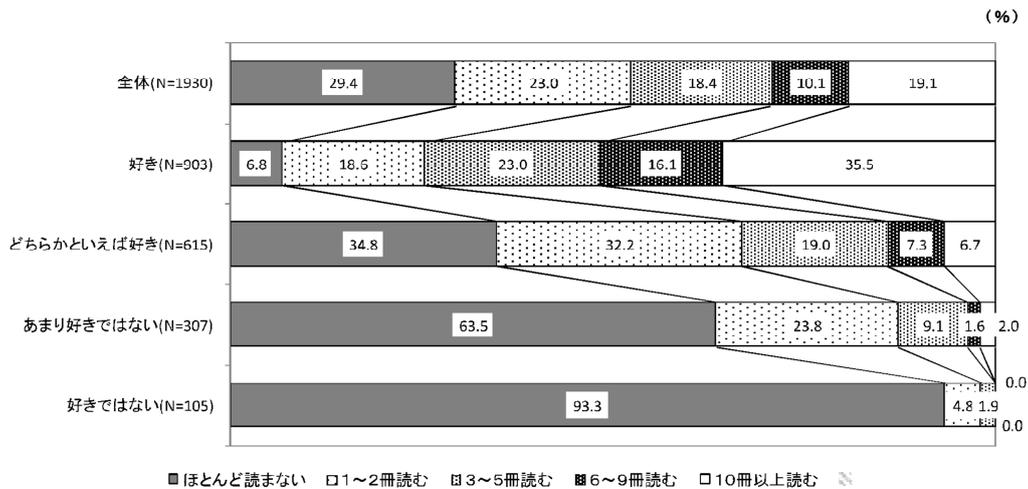
「どちらかといえば好き」と回答した児童・生徒については、「ほとんど・全く読まない（前回は「ほとんど読まない）」が 34.8%から 13.7%と 21.1 ポイントも低くなっており、逆に「3 冊から 5 冊」は 19.0%が 28.7%、「6 冊から 9 冊」は 7.3%が 12.2%、「10 冊以上」は 6.7%が 16.0%といずれも割合が高くなっています。

「あまり好きではない」あるいは「嫌い」と回答した児童・生徒については、「ほとんど・全く読まない（前回は「ほとんど読まない）」がそれぞれ、63.5%、93.3%と大きな割合を占めていましたが、それが 36.9%、63.4%となっており、26.6 ポイント、29.9 ポイントの大幅な低下をみせています。

前回調査と比較して、読書が「好き」か否かにかかわらず、読む本の冊数が増えている様子をつかうことができます。

《参考》

図表 1-2-10 読書が好きか別、1 か月に読む本の冊数 [前回調査 (平成 29 年)]



(6) 本をほとんど・全く読まない理由

小学校アンケート 問 9-2	「ほとんど・全く読まない」と答えた人はどうしてですか？
中学校アンケート 問 8-2	

本を「ほとんど・全く読まない」と回答した児童・生徒にその理由をたずねたところ、全体では、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が30.1%で最も高くなっています。

これに次いで、「本に興味がない」が14.5%、「塾や習い事、部活動などで忙しい」と14.3%となっており、さらに、「マンガ（コミック）や雑誌を読みたい」の13.0%、「友達と遊びたい」の11.5%、「読みたい本がない」の11.0%と続いています。

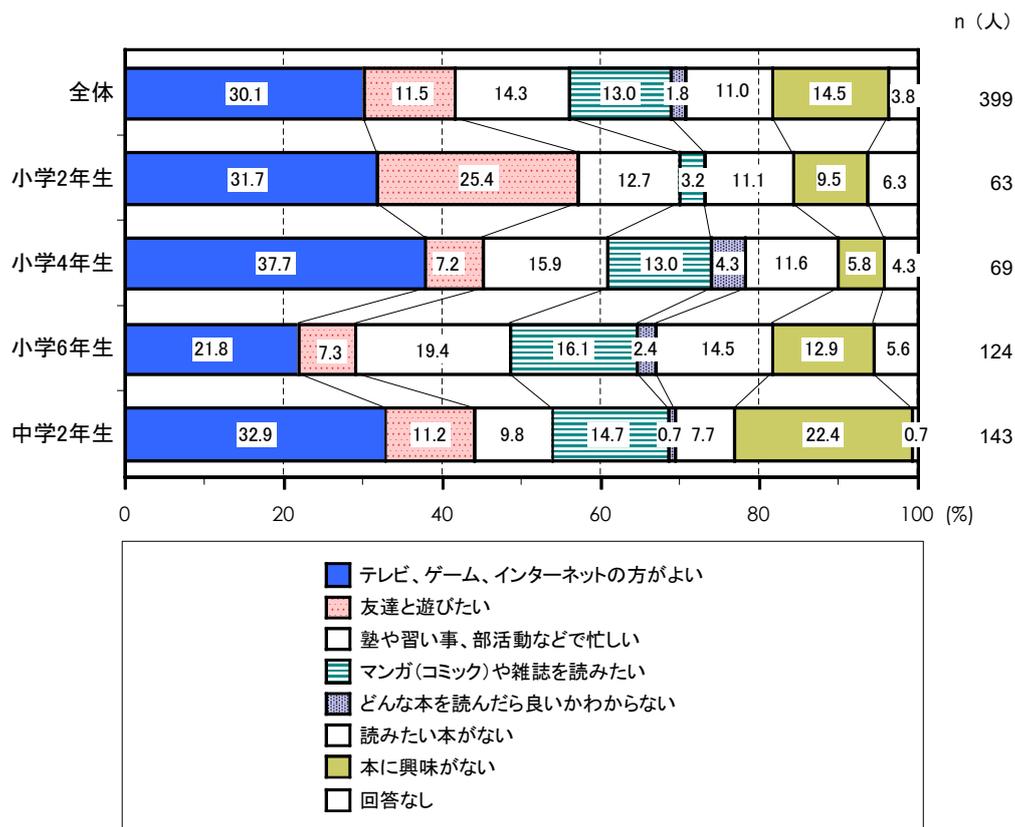
年齢別にみると、小学2年生では、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が31.7%と最も高いものの、「友達と遊びたい」が25.4%と相対的に高いことが特徴となっています。また、小学4年生では、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が37.7%を占め、他の学年と比べると最も高くなっています。

小学6年生では、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」は21.8%と相対的に低くなっており、「塾や習い事、部活動などで忙しい」の19.4%、「マンガ（コミック）や雑誌を読みたい」の16.1%、「読みたい本がない」の14.5%が相対的に高くなっています。

中学2年生では、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が32.9%で最も高いものの、次いで「本に興味がない」が22.4%を占めていることが特徴です。

いずれの学年であっても、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が最も大きな理由となっています。それに加え、小学2年生では「友達と遊びたい」、小学4年生・小学6年生では「塾や習い事で忙しい」、「マンガ（コミック）や雑誌を読みたい」ということが本を「ほとんど・全く読まない」大きな理由となっています。また、中学2年生では、「本に興味がない」ことも大きな理由となっています。

図表 1-2-11 学年別、本をほとんど・全く読まない理由



前回調査と比較すると、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」は、前は27.3%でしたが今回は30.1%となっており、2.8ポイント高くなっています。同様に「マンガ（コミック）や雑誌を読みたい」は8.8%が13.0%となっており4.2ポイント高くなっています。

小学2年生（前は小学1年生）では、前は「塾や習い事、部活動で忙しい」が30.1%と最も大きな割合を占めていましたが、それは12.7%にとどまり、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が31.7%と最も高くなっています。

小学4年生（前は小学3年生）では、前は「友達と遊びたい」が33.1%と最も大きな割合を占めていましたがそれは7.2%と大きく低下し、「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が37.7%と最も高くなっています。

小学6年生では、前は「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が28.9%と3割近い割合を占めていましたが、それは21.8%とやや低下し、「塾や習い事、部活動で忙しい」の19.4%、「マンガ（コミック）や雑誌を読みたい」の16.1%が割合を高めています。

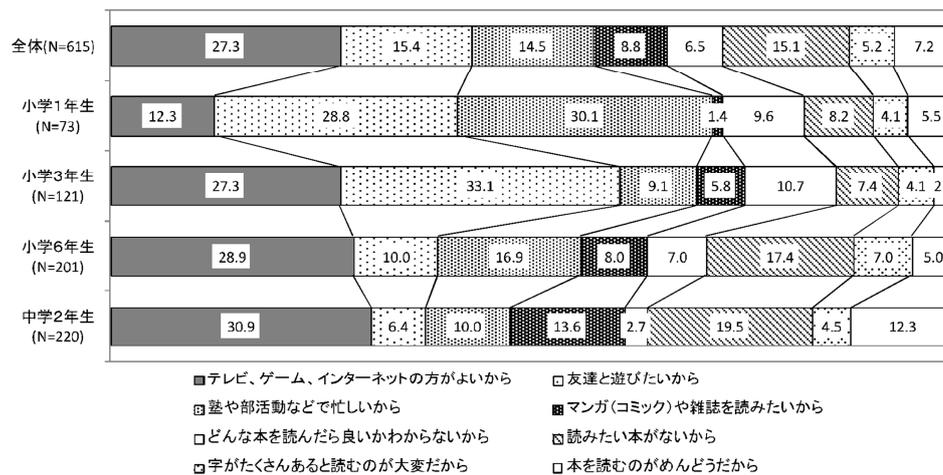
中学2年生では、前は「テレビ、ゲーム、インターネットの方がよい」が30.9%と約3割を占めていましたが、今回も32.9%と最も高くなっています。このほかでは「友達と遊びたい」が前回の6.4%から11.2%となっており、4.8ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、学年によってその様相はかなり変化しています。

《参考》

図表 1-2-12 学年別、本をほとんど・全く読まない理由 [前回調査 (平成 29 年)]

(%)



(7) 本を読むきっかけ

小学校アンケート 問5	あなたは、どんなきっかけで本を読むことが多いですか？ あてはまるものを2つ選んで下さい。
中学校アンケート 問4	

本を読むきっかけとしては、「本屋で見かけた」が43.3%で最も高くなっています。次いで、「家にあった」が35.8%、「学校の図書館・学級文庫で見かけた」が29.4%で、以上が上位3つとなっています。

この他では、「友だちにすすめられた」の17.6%、「家族が教えてくれた」の16.2%、「中央図書館で見かけた」の15.5%、「テレビ・インターネットで見かけた」の14.5%といった順に高くなっています。

学年別にみると、小学2年生では、「家にあった」が46.4%で最も高くなっています。次いで、「本屋で見かけた」の34.6%、「学校の図書館・学級文庫で見かけた」の30.6%、「中央図書館で見かけた」の21.3%となっており、相対的に「家にあった」、「学校の図書館・学級文庫で見かけた」、「中央図書館で見かけた」が高いことが特徴です。

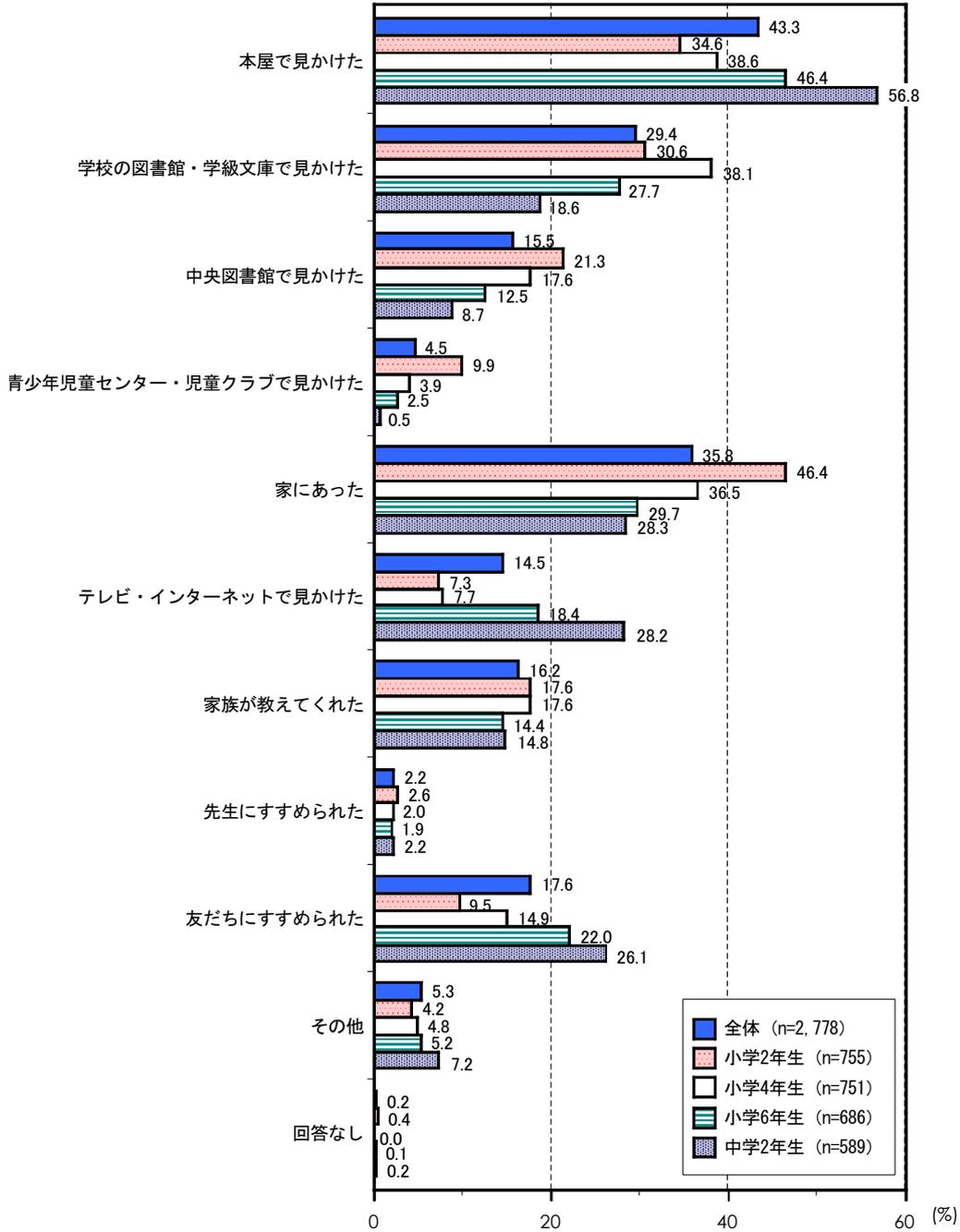
小学4年生では、「本屋で見かけた」が38.6%、「学校の図書館・学級文庫で見かけた」が38.1%、「家にあった」が36.5%となっており、上位3つが拮抗しています。相対的に「学校の図書館・学級文庫で見かけた」が高いことが特徴です。

小学6年生では、「本屋で見かけた」が46.4%で最も高くなっています。次いで、「家にあった」が29.7%、「学校の図書館・学級文庫で見かけた」が27.7%、「友だちにすすめられた」が22.0%となっています。

中学2年生では、「本屋で見かけた」が56.8%で学年別にみても最も高くなっています。次いで、「家にあった」が28.3%、「テレビ・インターネットで見かけた」が28.2%となっています。

小学6年生、中学2年生になると、「本屋で見かけた」がそれぞれ46.4%、56.8%と高くなること、また、「友だちにすすめられた」がそれぞれ22.0%、26.1%、「テレビ・インターネットで見かけた」がそれぞれ18.4%、28.2%と高くなることなどが特徴です。

図表 1-2-13 学年別、本を読むきっかけ - 複数回答 -



前回調査（平成 29 年）とは学年も選択肢も同一ではないので単純な比較は難しいですが、全体でみると、「学校の図書館・学級文庫で見かけた」は前回の 41.7%から 29.4%となっており、12.3 ポイント低くなっています。

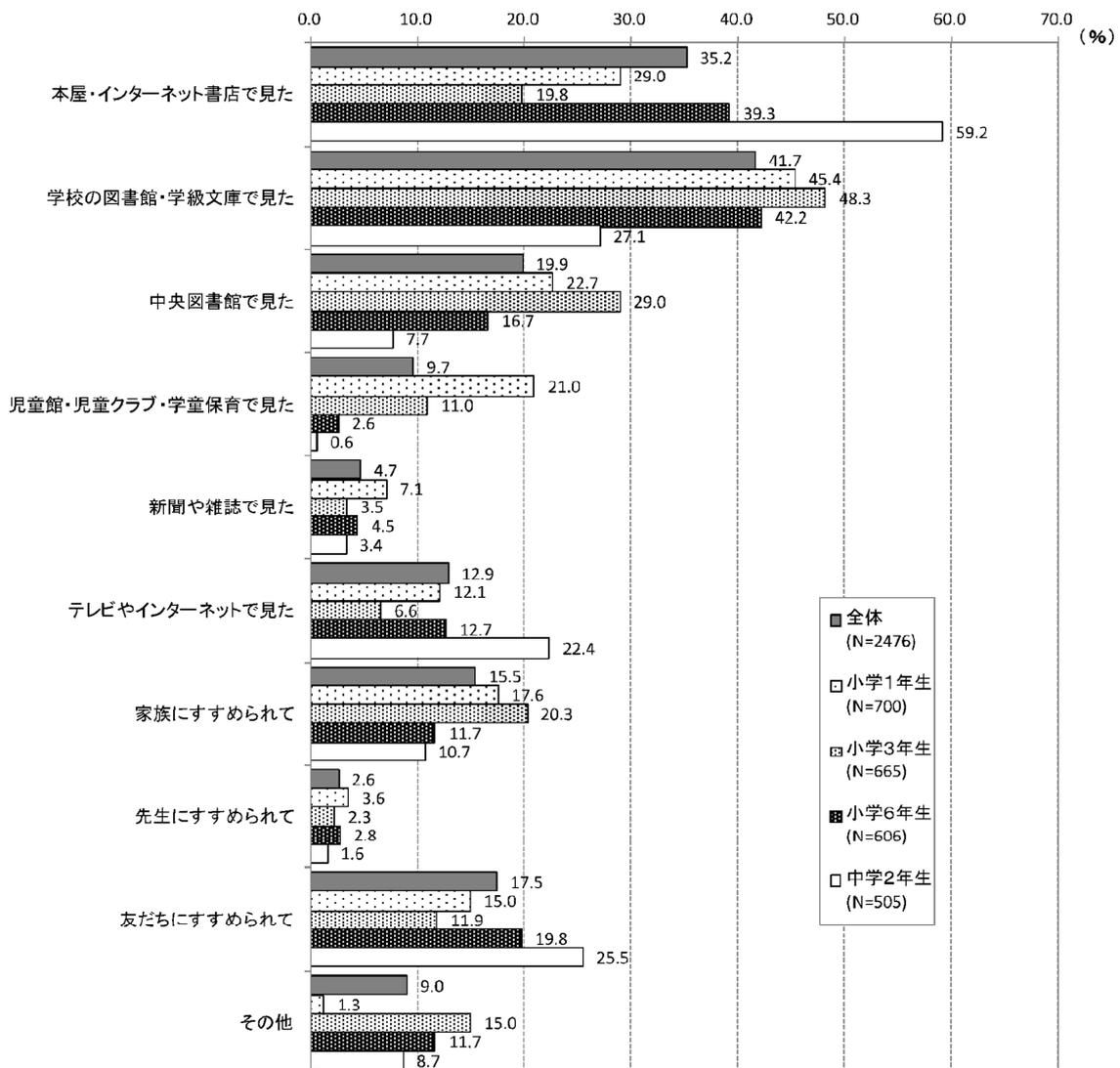
また、「中央図書館で見かけた（今回は「中央図書館を見た」）」は、前回の 19.9%に対し今回は 15.5%で 4.4 ポイントの低下、「児童館・青少年児童センター・児童クラブで見かけた（今回は「児童館・児童クラブ・学童保育を見た」）」が前回の 9.7%から 4.5%と 5.2 ポイントの低下となっています。

その一方で、「本屋で見かけた（今回は「本屋・インターネット書店を見た」）」が前回の 35.2%から 43.3%と 8.1 ポイント高くなっています。

中央図書館や学校・児童館等の図書館・図書室といった公的な施設をきっかけとしている割合は低下しており、「本屋で見かけた」の割合が大きく伸びています。

《参考》

図表 1-2-14 学年別、本を読むきっかけ [前回調査 (平成 29 年)] - 複数回答 -



(8) どの本をよく読むか

小学校アンケート 問6	どこにある本をよく読みますか？一番あてはまるものを1つ選んでください。
中学校アンケート 問5	

全体では、「自分の家の本」が50.5%でほぼ半数を占めています。次いで、「学校の図書館」の27.4%、「中央図書館」の8.5%が高くなっています。

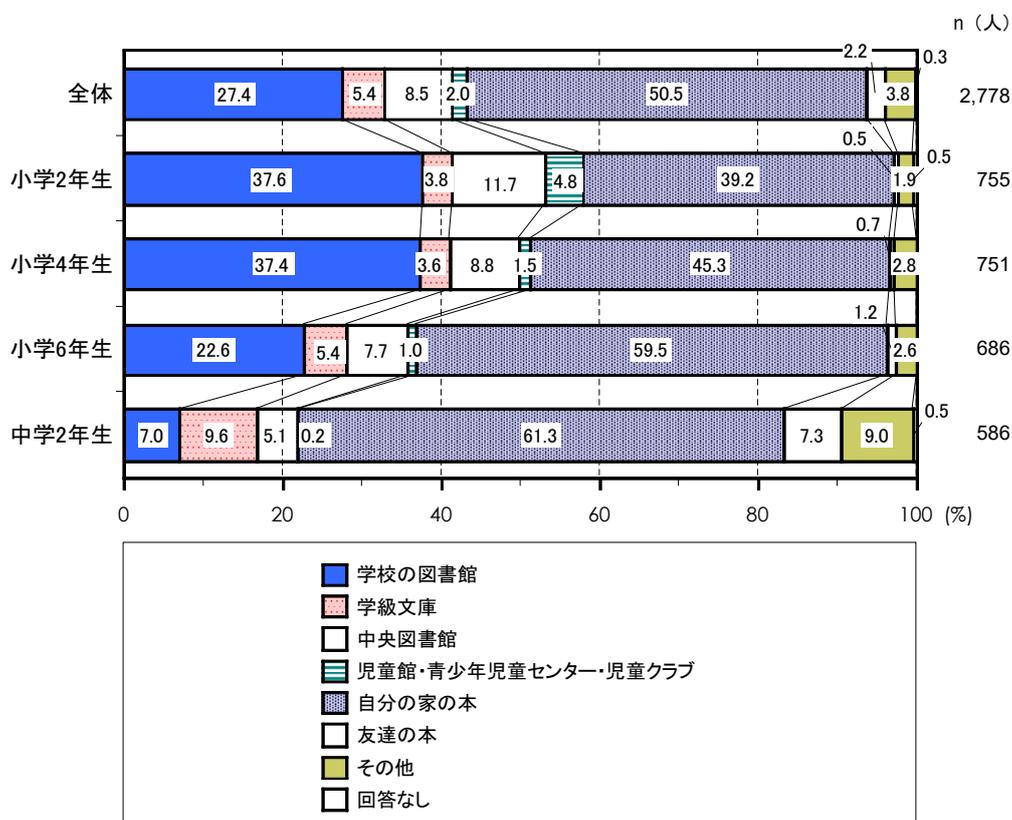
学年別にみると、小学校2年生や小学校4年生では、「自分の家の本」がそれぞれ39.2%、45.3%と最も高いものの、「学校の図書館」もそれぞれ37.6%、37.4%と4割近くの割合を示しています。また、「中央図書館」もそれぞれ11.7%、8.8%と相対的に高い割合を示しています。

加えて、小学2年生では、「児童館・青少年児童センター・児童クラブ」も4.8%と相対的に高い割合を示しています。

「学校の図書館」、「学級文庫」、「中央図書館」、「児童館・青少年児童センター・児童クラブ」を合わせた割合は、小学2年生で57.9%、小学4年生で51.3%といずれも5割を上回っています。

小学6年生になると、「自分の家の本」が59.5%と高い割合を占めるようになり、中学2年生になるとその割合は61.3%とさらに高くなっています。

図表 1-2-15 学年別、どの本をよく読むか

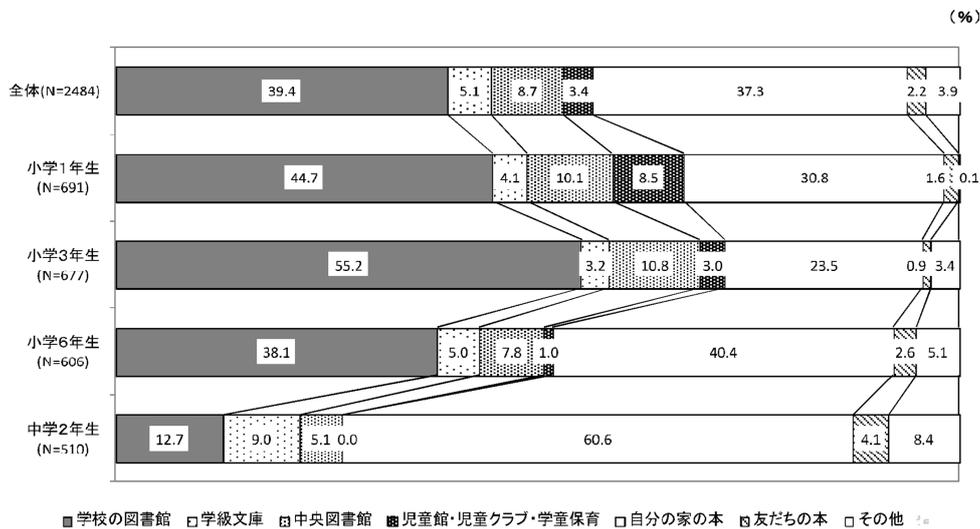


前回調査（平成 29 年）と全体を比較すると、「自分の家の本」は前回の 37.3%が今回は 50.5%となっており、13.2 ポイントも高くなっています。一方、「学校の図書館」は前回の 39.4%が 27.4%となっており、12.0 ポイントの低下となっています。学校の図書館の割合が下がり、その分、自分の家の本の割合が伸びています。

「学校の図書館」の割合の変化を学年別にみていくと、小学 2 年生（前回 は小学 1 年生）は 44.7%から 37.6%と 7.1 ポイントの低下、小学 4 年生（前回 は小学 3 年生）は 55.2%から 37.4%と 17.8 ポイントの低下、小学 6 年生は 38.1%から 22.6%と 15.5 ポイントの低下、中学 2 年生は 12.7%から 7.0%と 5.7 ポイントの低下となっており、すべてで低下しています。とくに小学 4 年生、小学 6 年生での低下が顕著です。

《参考》

図表 1-2-16 学年別、どこの本をよく読むか [前回調査（平成 29 年）]



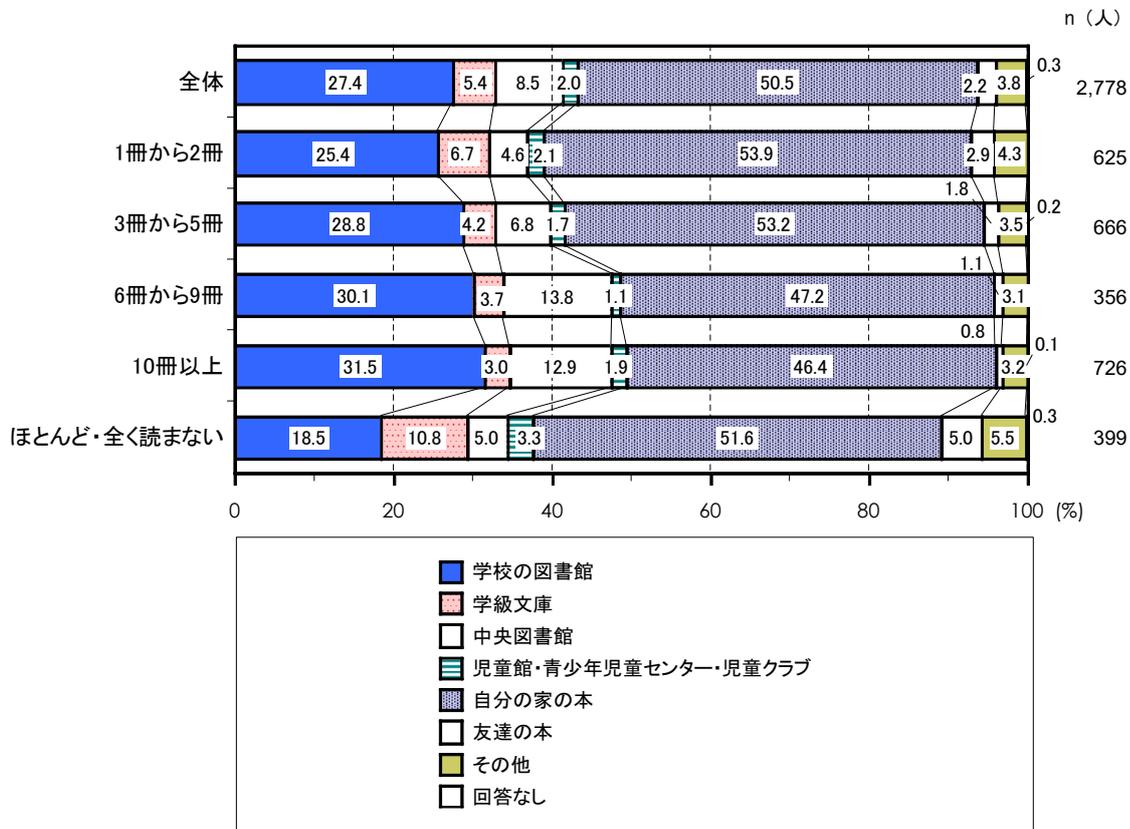
1か月に読む本の冊数別にみると、読む本の冊数がいずれであっても「自分の家の本」が最も多くを占めています。

しかし、「6冊から9冊」では、「自分の家の本」は47.2%と5割を下回るようになり、「学校の図書館」が30.1%、「中央図書館」が13.8%と相対的に高い割合を示しています。

「10冊以上」でも同様に、「自分の家の本」は46.4%と5割を下回り、「学校の図書館」が31.5%、「中央図書館」が12.9%と相対的に高い割合を示しています。

1か月に読む本の冊数が多い児童・生徒は、学校の図書館や中央図書館の本を読む割合が高くなっています。

図表 1-2-17 1か月に読む本の冊数別、どこの本をよく読むか



前回調査（平成 29 年）との比較で「学校の図書館」の変化を 1 か月に読む本の冊数別にみると、「ほとんど・全く読まない（今回は「ほとんど読まない）」では前は 24.5%でしたが今回は 18.5%で 6.0 ポイント低下しています。

同様に、「1 冊から 2 冊」では 30.5%が 25.4%と 5.1 ポイントの低下、「3 冊から 5 冊」では 46.2%が 28.8%と 17.4 ポイントの低下、「6 冊から 9 冊」では 54.4%が 30.1%と 24.3 ポイントの低下、「10 冊以上」が 53.0%から 31.5%と 21.5 ポイントの低下と、いずれも大きく低下させています。

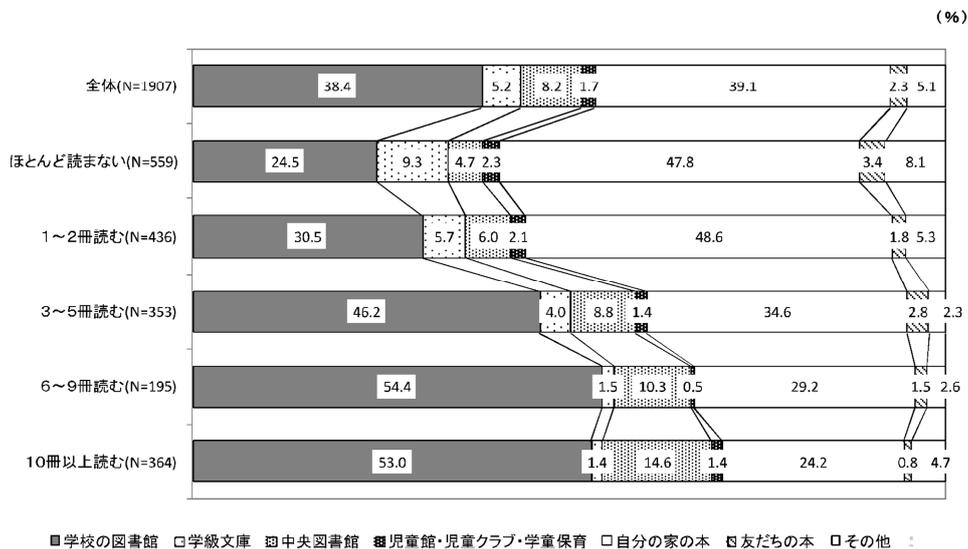
一方、「自分の家の本」の変化をみると、「ほとんど・全く読まない」では前は 47.8%でしたが今回は 51.6%で 3.8 ポイント上昇しています。

同様に、「1 冊から 2 冊」では 48.6%が 53.9%と 5.3 ポイントの上昇、「3 冊から 5 冊」では 34.6%が 53.2%と 18.6 ポイントの上昇、「6 冊から 9 冊」では 29.2%が 47.2%と 18.0 ポイントの上昇、「10 冊以上」が 24.2%から 46.4%と 22.2 ポイントの上昇と、こちらはいずれも大きく上昇させています。

前回調査では、1 か月に読む本の冊数が多い児童・生徒ほど、「学校の図書館」の本を読む傾向がはっきりとみられましたが、その傾向は前回ほど明確にはみられません。「自分の家の本」を読む傾向が強くなっています。

《参考》

図表 1-2-18 1 か月に読む本の冊数別、どこの本をよく読むか [前回調査（平成 29 年）]



(9) 家で本を読む時間

小学校アンケート 問7	1日に家で本を読む時間はどれくらいですか？
中学校アンケート 問6	

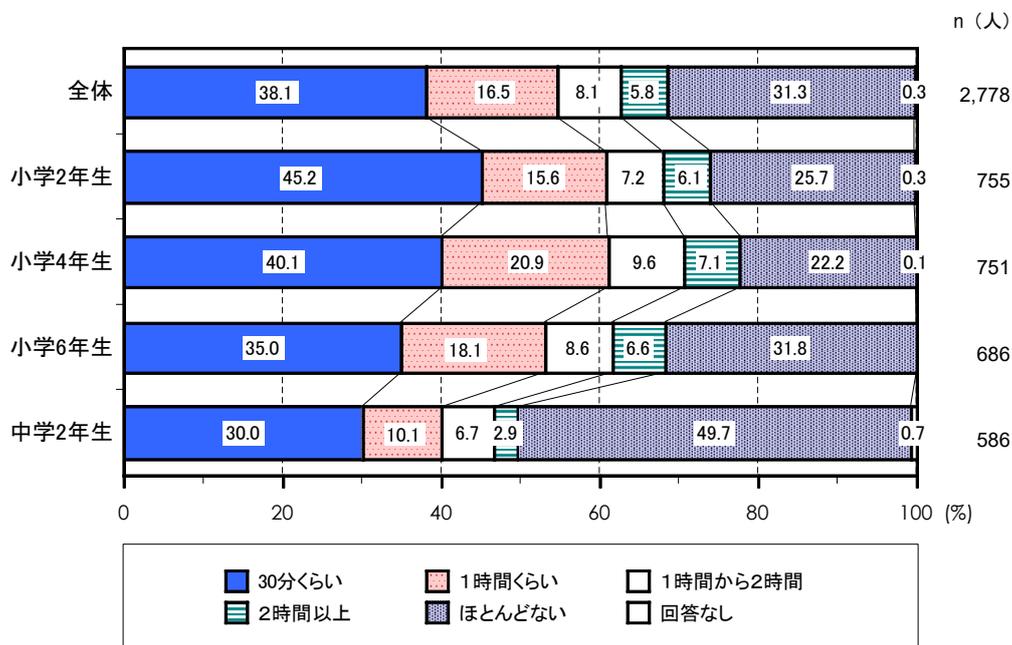
全体では、「30分くらい」が38.1%で最も多くなっています。「1時間くらい」は16.5%、「1時間から2時間」は8.1%、「2時間以上」は5.8%で、これらをあわせた『1日に家で本を読んでいる』は概ね7割程度(68.5%)となっています。

学年別にみると、小学2年生では「30分くらい」が45.2%、小学4年生では40.1%で、この2学年は「30分くらい」が全体の38.1%を上回っています。また、小学校4年生では「1時間くらい」も20.9%と相対的に高くなっています。

小学2年生と小学4年生では、『1日に家で本を読んでいる』はそれぞれ74.1%、77.7%で、ともに7割を上回っています。小学6年生は、全体の傾向とほぼ同様の結果を示しています。

中学2年生では、「ほとんどない」が49.7%と半数を上回っています。学年が高くなるにつれて、家で本を読む時間は減っている状況にあることがわかります。

図表 1-2-19 学年別、家で本を読む時間



(10) 家でゲーム、テレビ、パソコンを見る時間

小学校アンケート 問8	1日に家でゲームやテレビ、パソコン（スマホ、タブレット含む）を見る時間はどれくらいですか？
中学校アンケート 問7	

全体では、「2時間以上」が**29.9%**で最も多くなっています。次いで、「1時間から2時間」が**24.7%**、「1時間くらい」が**24.4%**、「30分くらい」が**14.8%**となっています。

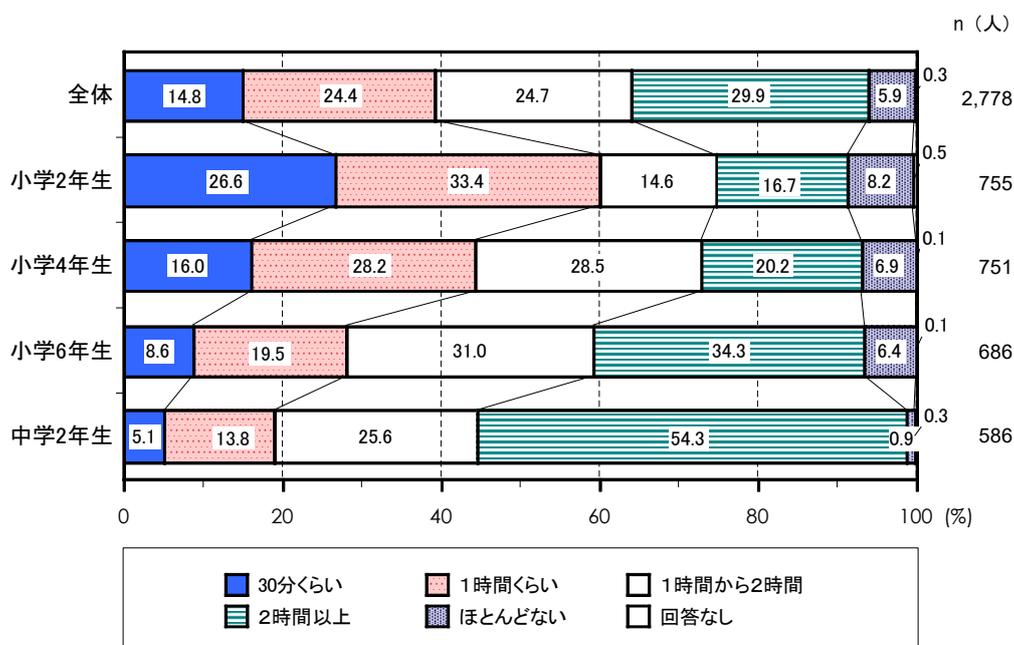
学年別にみると、小学2年生では「30分くらい」の**26.6%**、「1時間くらい」の**33.4%**が全体と比較して高く、『1時間くらいまで』が**60.0%**と6割を占めています。

小学4年生では「30分くらい」の16.0%、「1時間くらい」の**28.2%**、「1時間から2時間」の28.5%が全体と比較してやや高く、「2時間以上」は**20.2%**と低くなっています。

小学6年生になると、「1時間から2時間」が**31.0%**、「2時間以上」が34.3%となり、全体を上回るようになっています。家でゲーム、テレビ、パソコンを見る時間が小学6年生あたりから長くなっている様子が見えます。

さらに、中学2年生になると、「2時間以上」が**54.3%**と5割以上を占めるようになり、家でゲーム、テレビ、パソコンを見る時間はさらに長くなっています。

図表 1-2-20 学年別、家でゲーム、テレビ、パソコンを見る時間



(11) 電子書籍を読んだ経験

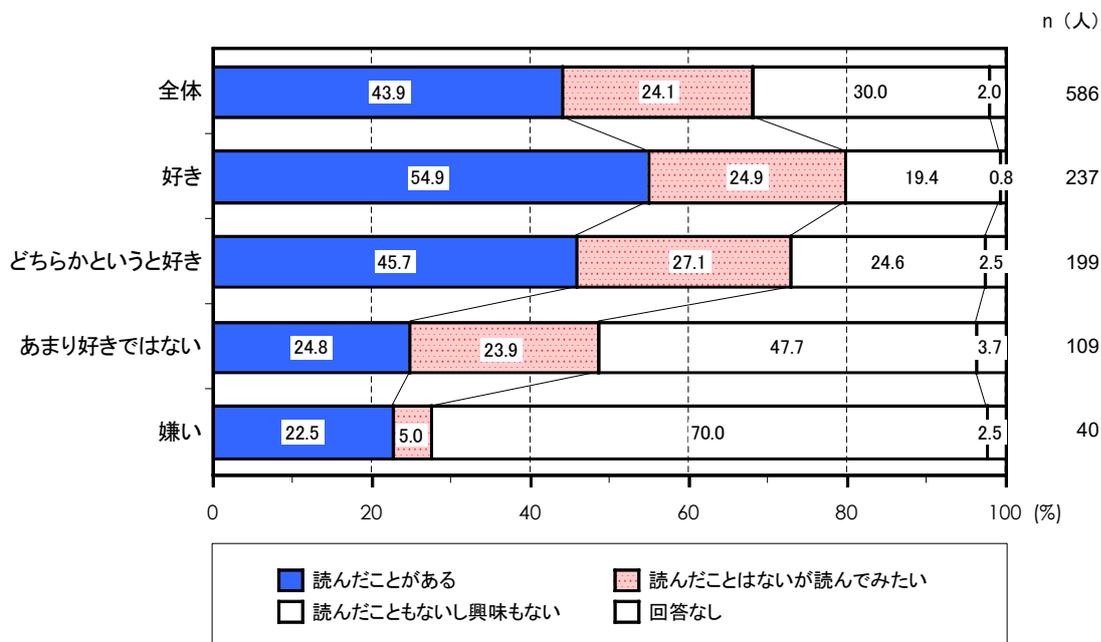
中学校アンケート 問9 あなたは、電子書籍を読んだことはありますか？

全体では、電子書籍を「読んだことがある」は43.9%で4割以上を占めています。「読んだことはないが読んでみたい」は24.1%、「読んだこともないし興味もない」は30.0%となっています。

読書が「好き」と回答した生徒では、電子書籍を「読んだことがある」は54.9%と高く、「どちらかという好き」と回答した生徒でも45.7%と相対的に高くなっています。

読書が「好き」な生徒ほど、電子書籍を読んだ経験が高いという傾向がみられます。

図表 1-2-21 読書が好きか別、電子書籍を読んだ経験 - 中学2年生 -

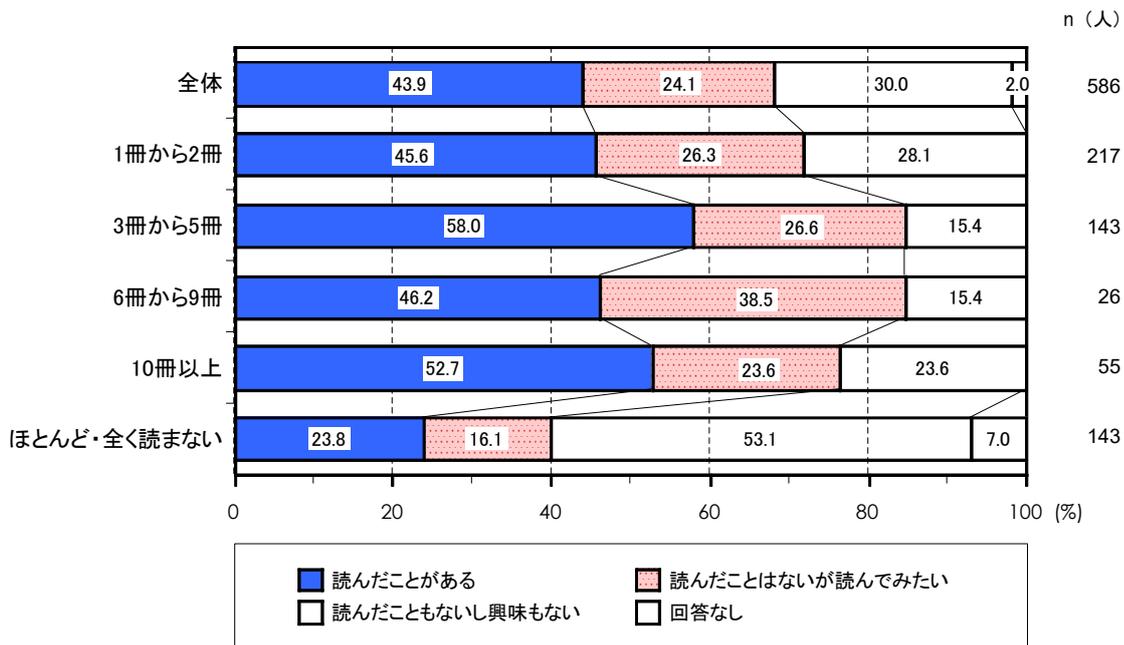


1か月に読む本の冊数別にみると、電子書籍を「読んだことがある」は「3冊から5冊」で58.0%、「10冊以上」で52.7%となっています。

一方、「1冊から2冊」でも45.6%、「6冊から9冊」でも46.2%となっており、この結果をみる限り、1か月に本を読む冊数と電子書籍を読んだ経験に相関関係はみられません。

なお、本を「ほとんど・全く読まない」では、電子書籍を「読んだことがある」は23.8%となっています。読書の習慣がない生徒でも、その4人に1人は電子書籍を読んでいることとなります。

図表 1-2-22 1か月に読む本の冊数別、電子書籍を読んだ経験 - 中学2年生 -



(12) 1か月に中央図書館へ行く回数

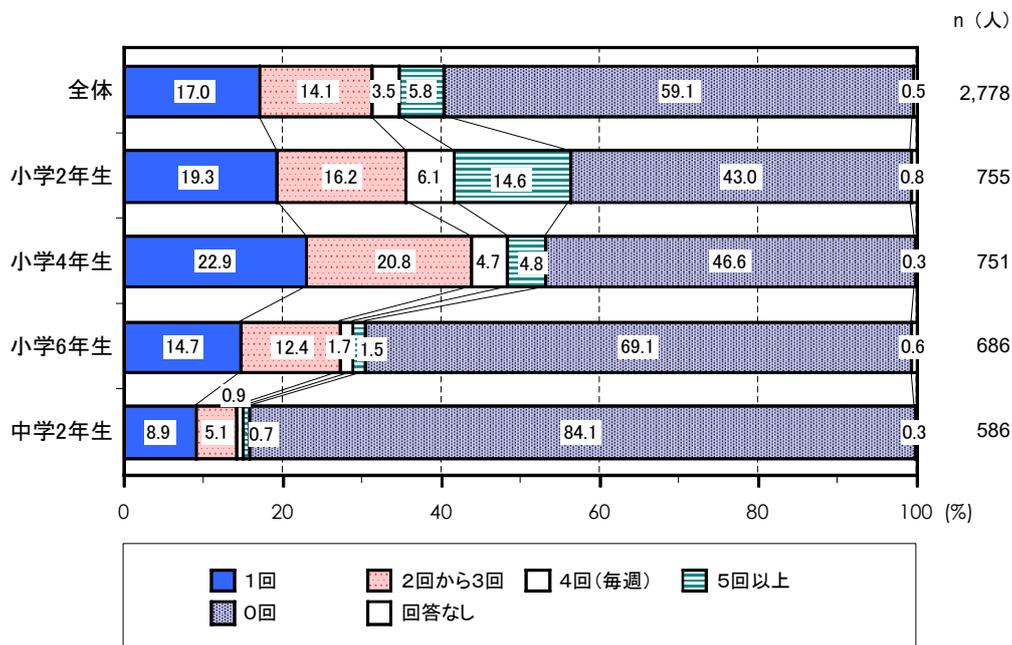
小学校アンケート 問 10	あなたは、1か月のうち中央図書館へ何回行きますか？
中学校アンケート 問 10	

全体では、「0回」が59.1%で最も多くなっています。「1回」が17.0%、「2回から3回」が14.1%、「4回」が3.5%、「5回以上」は5.8%です。中央図書館を利用（月に1回以上利用）しているのは40.4%と約4割となっています。

中央図書館を利用（月に1回以上利用）している割合をみていくと、小学2年生は56.2%、小学4年生は53.2%と5割を超えており、中央図書館へ出向く回数は相対的に多くなっています。とくに小学2年生では、「4回（毎週）」が6.1%、「5回以上」が14.6%あり、約2割（20.7%）は毎週またはそれ以上の頻度で中央図書館に出向いています。

小学6年生では、中央図書館を利用（月に1回以上利用）している割合は30.3%、中学2年生では15.6%となっており、学年が上がるほど中央図書館に出向く回数が少なくなる傾向がみられます。

図表 1-2-23 学年別、1か月に中央図書館へ行く回数



[小学校]

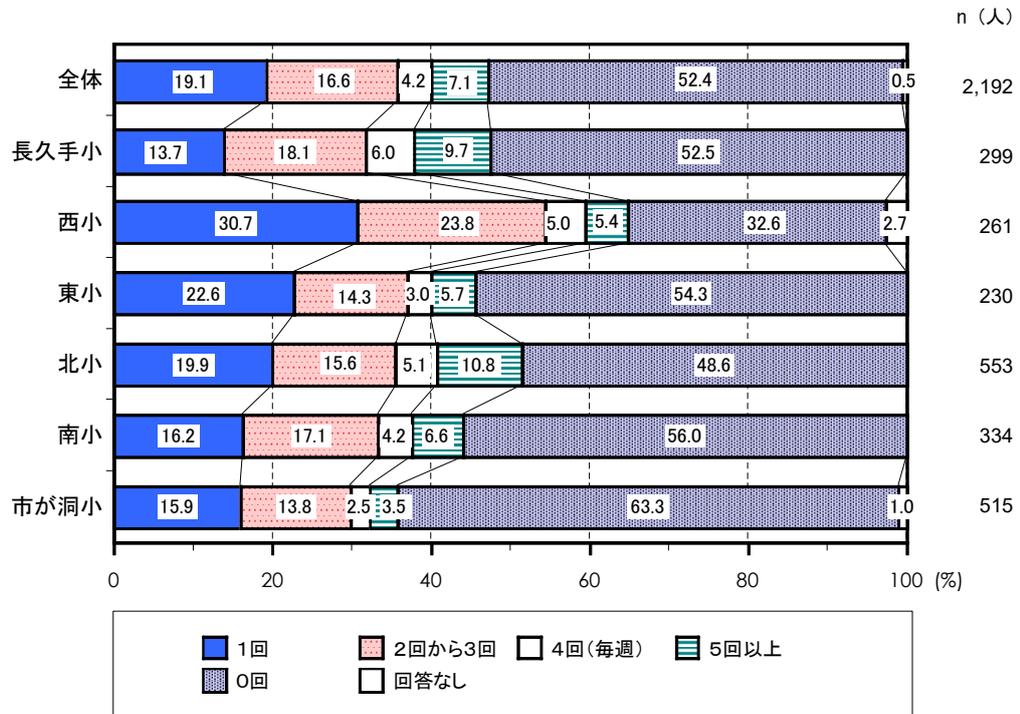
小学校についてみていくと、小学校全体では、「0回」が52.4%で最も多くなっています。「1回」が19.1%、「2回から3回」が16.6%、「4回」が4.2%、「5回以上」は7.1%です。中央図書館を利用（月に1回以上利用）しているのは47.0%となり、児童の半数近くになります。

学校別に中央図書館を利用（月に1回以上利用）している割合をみていくと、最も高いのは西小の64.9%となっています。次いで、北小の51.4%です。この2校は利用している児童が半数を超えています。

続いて、長久手小の47.5%、東小の45.6%、南小の44.1%となっており、最も低いのは市が洞小の35.7%となっています。

距離的に中央図書館に近い西小、北小、長久手小で利用する割合が高くなっています。

図表 1-2-24 学校別、1か月に中央図書館へ行く回数 -小学校-

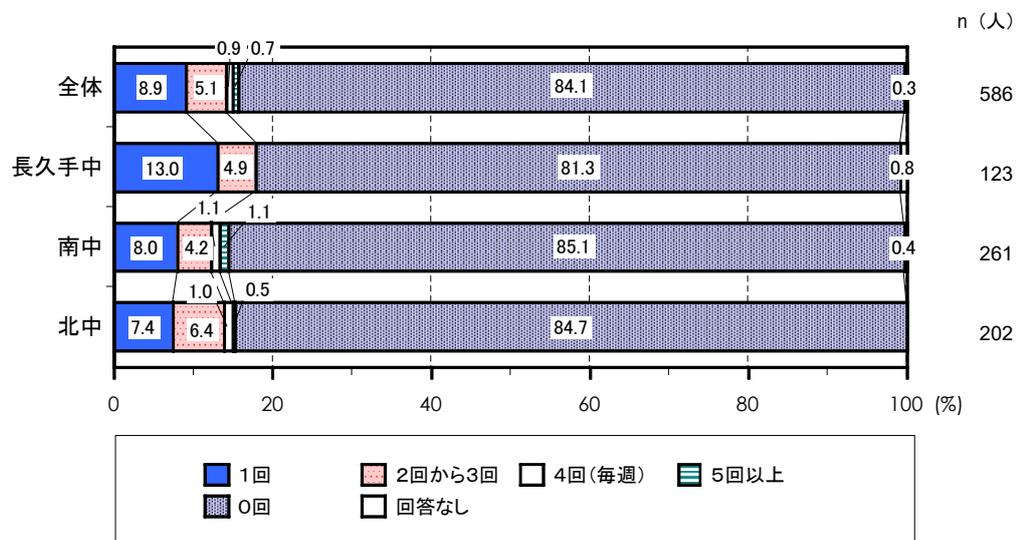


[中学校]

中学校についてみると、全体では、「0回」が84.1%と8割以上の高い割合を示しています。「1回」が8.9%、「2回から3回」が5.1%、「4回」が0.9%、「5回以上」は0.7%です。中央図書館を利用（月に1回以上利用）しているのは15.6%となっています。おおまかにみて生徒の6人に1人といった割合です。

学校別に中央図書館を利用（月に1回以上利用）している割合をみていくと、長久手中が17.9%、次いで北中が15.3%、南中が14.4%となっています。

図表 1-2-25 学校別、1か月に中央図書館へ行く回数 -中学校-



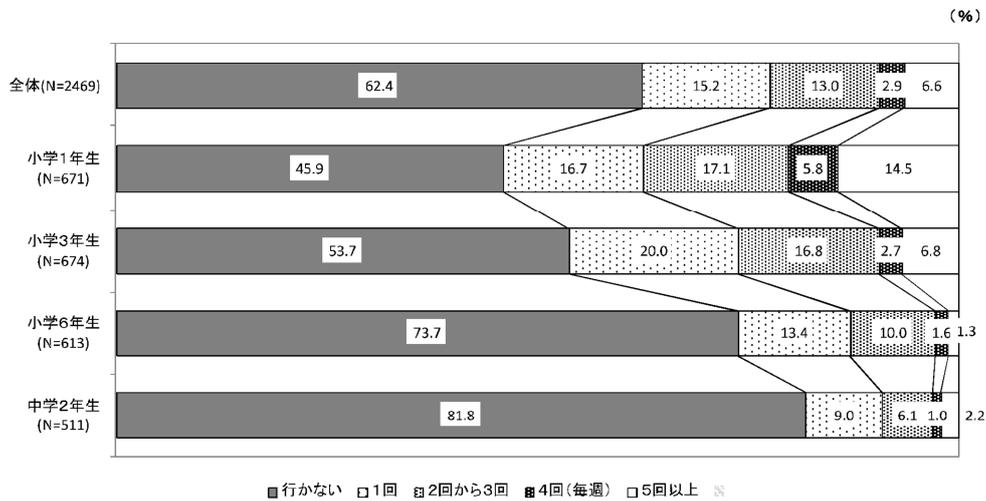
前回調査では「0回」は62.4%で、今回の59.1%と大差はありません。

中央図書館を利用（月に1回以上利用）している割合の変化を学年別でみておくと、小学2年生（前回は小学1年生）では前回54.1%に対し今回は56.2%で2.1ポイントの増加、同様に小学4年生（前回は小学3年生）では46.3%に対し53.2%で6.9ポイントの増加、小学6年生では26.3%に対し30.0%で3.7ポイントの増加となっており、中央図書館を利用している児童が増えています。

一方、中学2年生については、前は18.3%に対して今回は15.6%で、2.7ポイント低くなっています。利用している生徒はわずかですが減っています。

《参考》

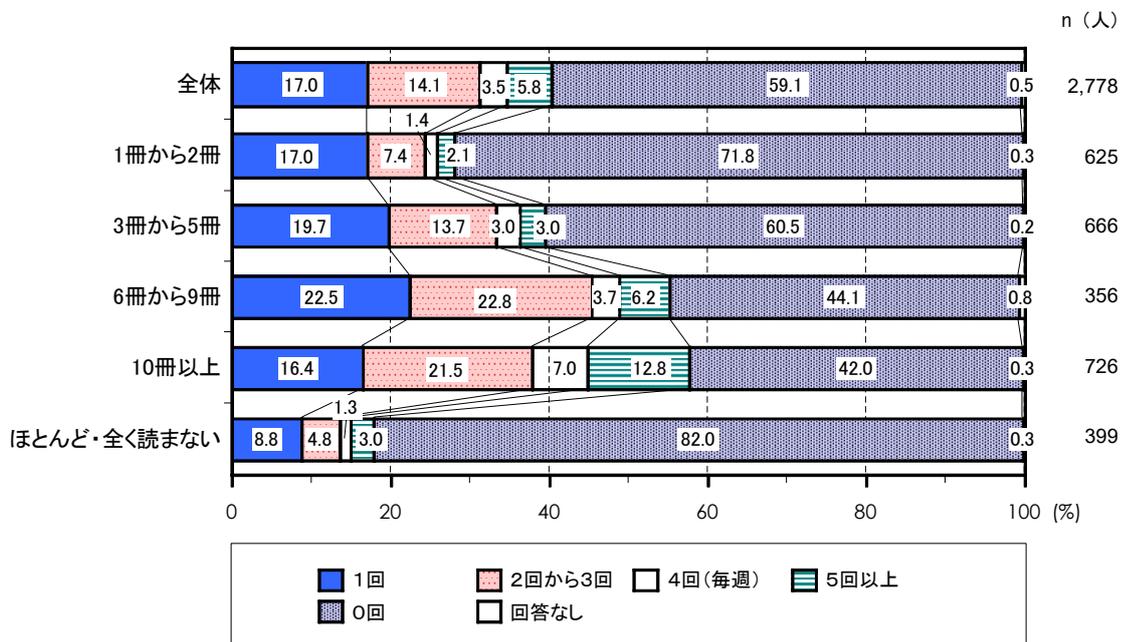
図表 1-2-26 学年別、1か月に中央図書館へ行く回数 [前回調査（平成29年）]



1か月に読む本の冊数別に、中央図書館を利用（月に1回以上利用）している割合をみると、「1冊から2冊」では27.9%、「3冊から5冊」では39.4%、「6冊から9冊」では55.2%、「10冊以上」では57.7%となっており、1か月に読む本の冊数が多いほど中央図書館を利用している割合は高くなるという傾向が顕著です。

とくに、「6冊から9冊」では、「4回（毎週）」が3.7%、「5回以上」が6.2%で、『毎週またはそれ以上』の頻度で中央図書館に行っている者の割合が約1割（9.9%）になっています。さらに「10冊以上」になるとその割合は約2割（19.8%）と非常に高くなっていることが特徴的です。

図表 1-2-27 1か月に読む本の冊数別、1か月に中央図書館へ行く回数

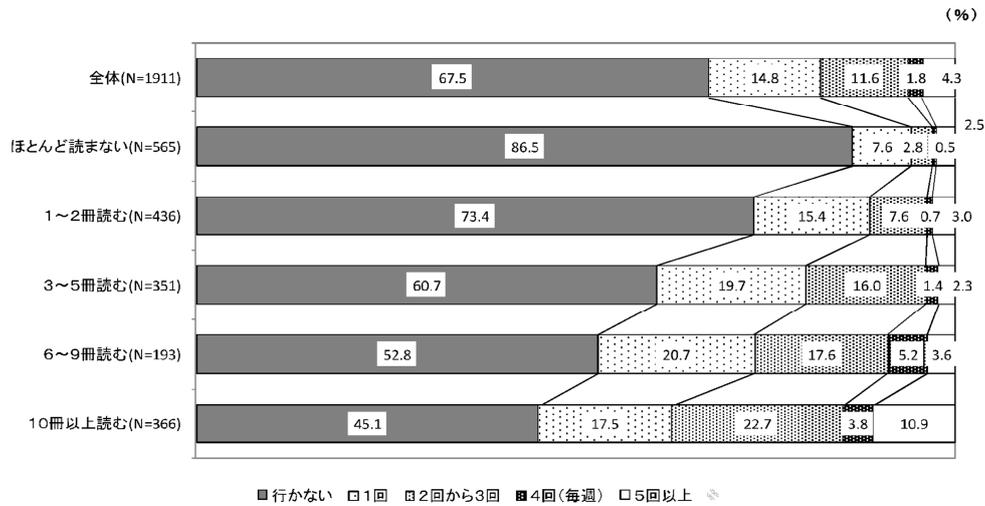


中央図書館を利用（月に1回以上利用）している割合を前回調査と比較すると、「1冊から2冊」では前回26.7%に対して今回は27.9%で1.2ポイントの増加、「3冊から5冊」では前回も今回も39.4%で変化なし、「6冊から9冊」では47.1%に対し55.2%で8.1ポイントの増加、「10冊以上」では54.9%に対し57.7%で2.8ポイントの増加となっています。

1か月に読む本の冊数別に前回調査との比較をみると、中央図書館を利用している割合は、「3冊から5冊」を除いてやや増加する傾向にあります。

《参考》

図表 1-2-28 1か月に読む本の冊数別、1か月に中央図書館へ行く回数〔前回調査（平成29年）〕



(13) 読書手帳への記載

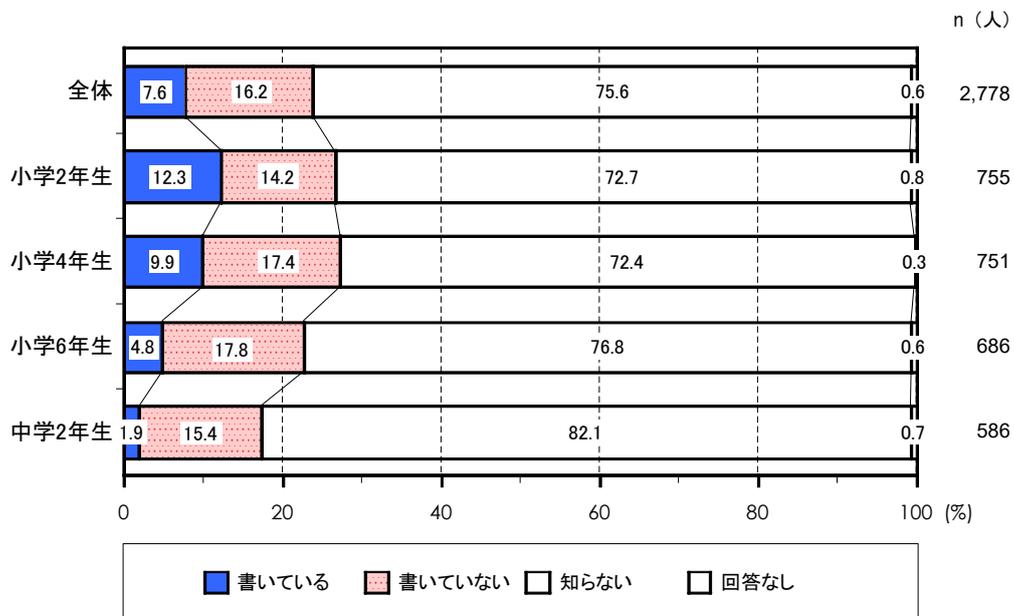
小学校アンケート 問 11	中央図書館で配布している「読書手帳」に本の題名などを書いてありますか？
中学校アンケート 問 11	

中央図書館で配布している「読書手帳」を「知らない」が75.6%で7割以上を占めています。また、「読書手帳」に本の題名などを「書いている」は7.6%、「書いていない」は16.2%となっています。

「書いている」の割合は、小学2年生で12.3%、小学4年生で9.9%、小学6年生で4.8%、中学2年生で1.9%となっています。

小学校2年生・4年生あたりまでは「書いている」が1割前後を占めますが、小学6年生、中学2年生と学年が高くなるにつれ、本の題名などを書く者はごく少数（5%以下）に限られています。

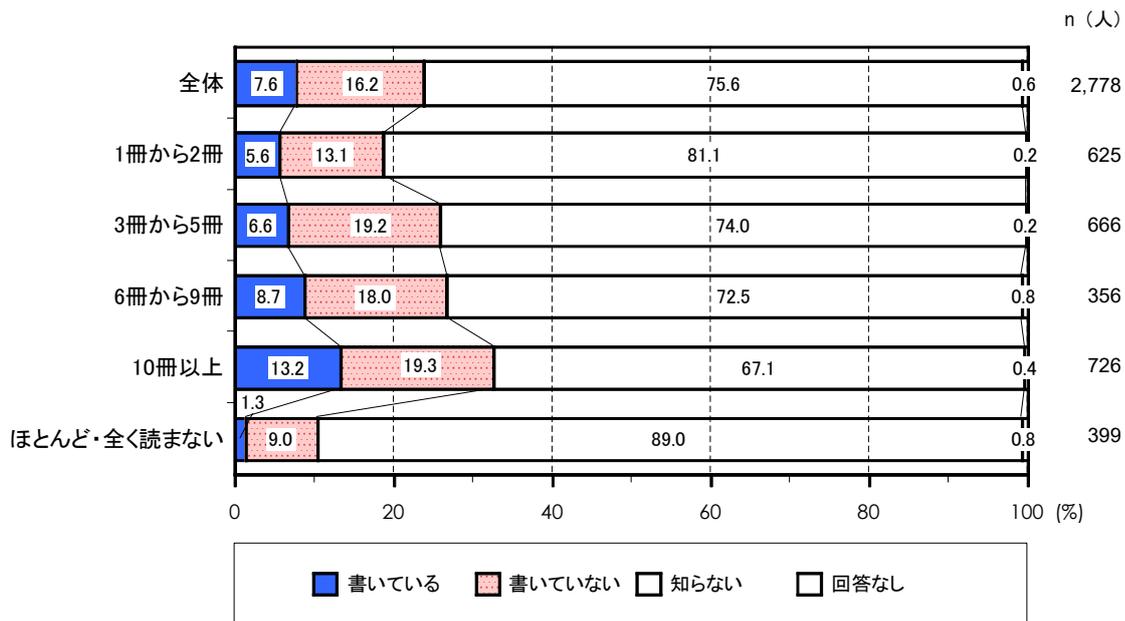
図表 1-2-29 学年別、読書手帳への記載



1か月に読む本の冊数別にみていくと、「読書手帳」に本の題名などを「書いている」の割合は、「1冊から2冊」では5.6%、「3冊から5冊」では6.6%、「6冊から9冊」では8.7%、「10冊以上」では13.2%となっています。本を多く読んでいる児童・生徒ほど、読書手帳を活用している傾向がみられます。

ただし、「10冊以上」本を読んでいる児童・生徒でも、「書いている」は13.2%、「書いていない」は19.3%で、「書いていない」方が6.1ポイント上回っています。

図表 1-2-30 1か月に読む本の冊数別、読書手帳への記載

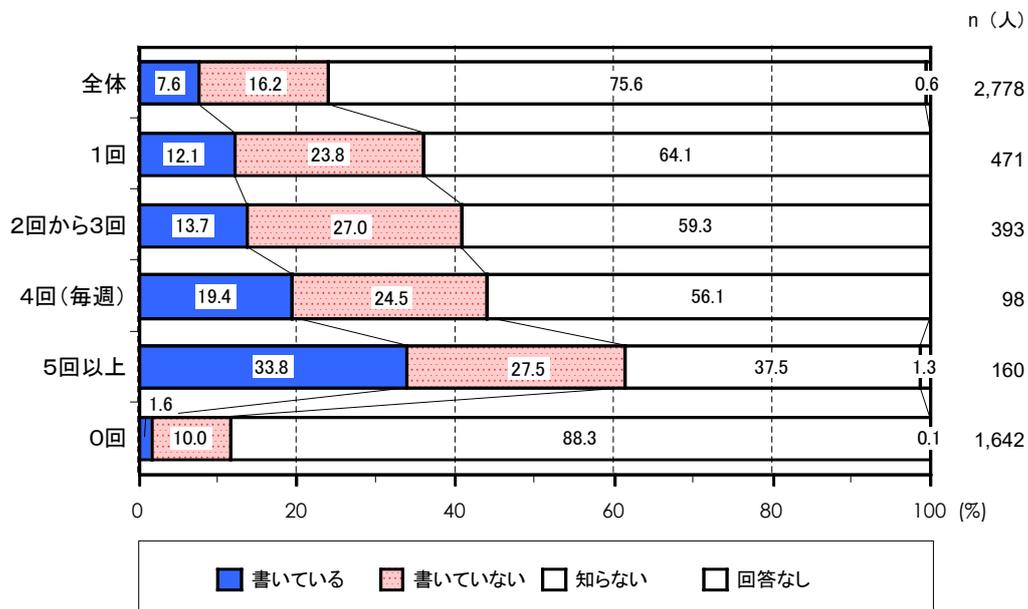


1か月に中央図書館へ行く回数別にみていくと、「読書手帳」に本の題名などを「書いている」の割合は、「1回」では12.1%、「2回から3回」では13.7%、「4回（毎週）」では19.4%、「5回以上」では33.8%となっています。中央図書館を訪れる回数が多い児童・生徒ほど、読書手帳を活用している傾向が顕著に表れています。

「5回以上」中央図書館を訪れている児童・生徒になると、「書いている」は33.8%、「書いていない」は27.5%で、「書いている」方が6.3ポイント上回るようになっています。

ただし、「5回以上」と頻繁に中央図書館を訪れている児童・生徒であっても、読書手帳を「知らない」が37.5%と4割近くを占めています。

図表 1-2-31 1か月に中央図書館へ行く回数別、読書手帳への記載



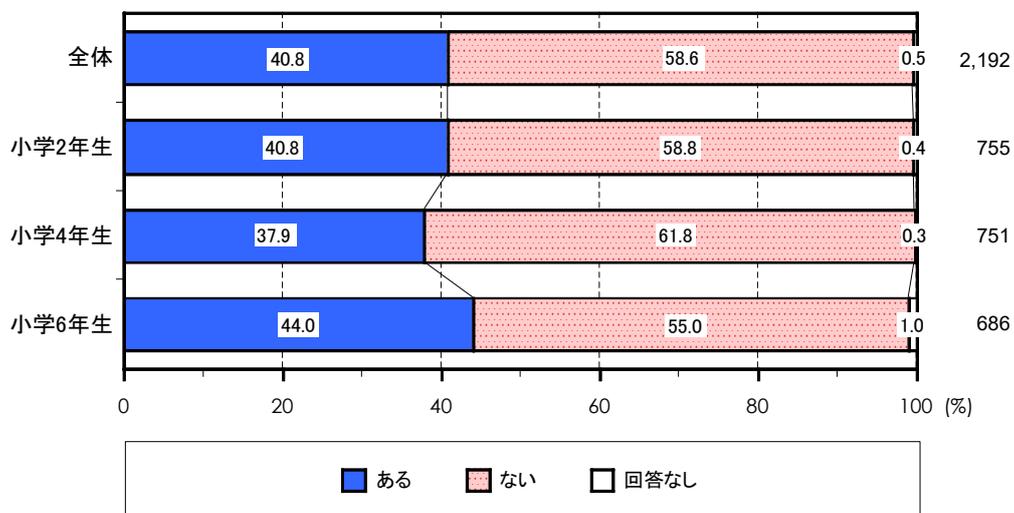
(14) 調べ物のために本を借りた経験

小学校アンケート 問 12	宿題の答えなど調べものをするために図書館や学校の図書室の本を借りたことはありますか？
---------------	--

全体で見ると、「ある」は40.8%、「ない」は58.6%で、調べ物のために本を借りた経験があるのは約4割となっています。

小学6年生では、「ある」が44.0%とやや高くなっていますが、学年による顕著な相違はみられません。

図表 1-2-32 学年別、調べ物のために本を借りた経験 - 小学2・4・6年生 -
n (人)



(15) Y・Aコーナーの認知・利用状況

中学校アンケート 問 12	中央図書館にある「Y・A (ヤング・アダルト) コーナー」を知っていますか？また、そのコーナーの本を借りたことはありますか？
---------------	--

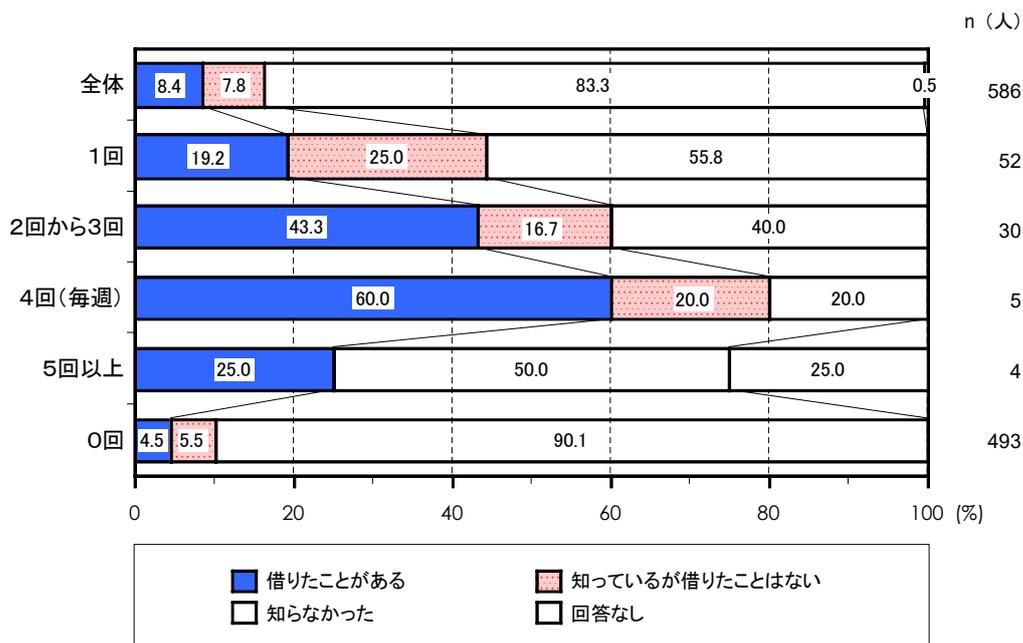
中学2年生全体でみると、「借りたことがある」は8.4%で、「Y・Aコーナー」の本を借りたことがある生徒は1割未満となっています。

「借りたことがある」の8.4%と「知っているが借りたことはない」の7.8%を合わせた割合は16.2%で、「Y・Aコーナー」の認知度はおおむね6人に1人程度の割合となっています。

1か月に中央図書館へ行く回数ごとに「借りたことがある」の割合をみると、「1回」では19.2%、「2回から3回」では43.3%、「4回(毎週)」では60.0%となっており、1か月に中央図書館へ行く回数が多い生徒ほど、Y・Aコーナーの本を借りていることがわかります。

図表 1-2-33 1か月に中央図書館へ行く回数別、Y・Aコーナーの認知・利用状況

- 中学2年生 -



(16) 本を読むことで得られる影響

中学校アンケート 問 13	本を読むことで人にどのような影響があると思いますか？あてはまるもの全てを選んでください。「その他」を選んだ人は()の中になるべくわかりやすく書いてください。
---------------	---

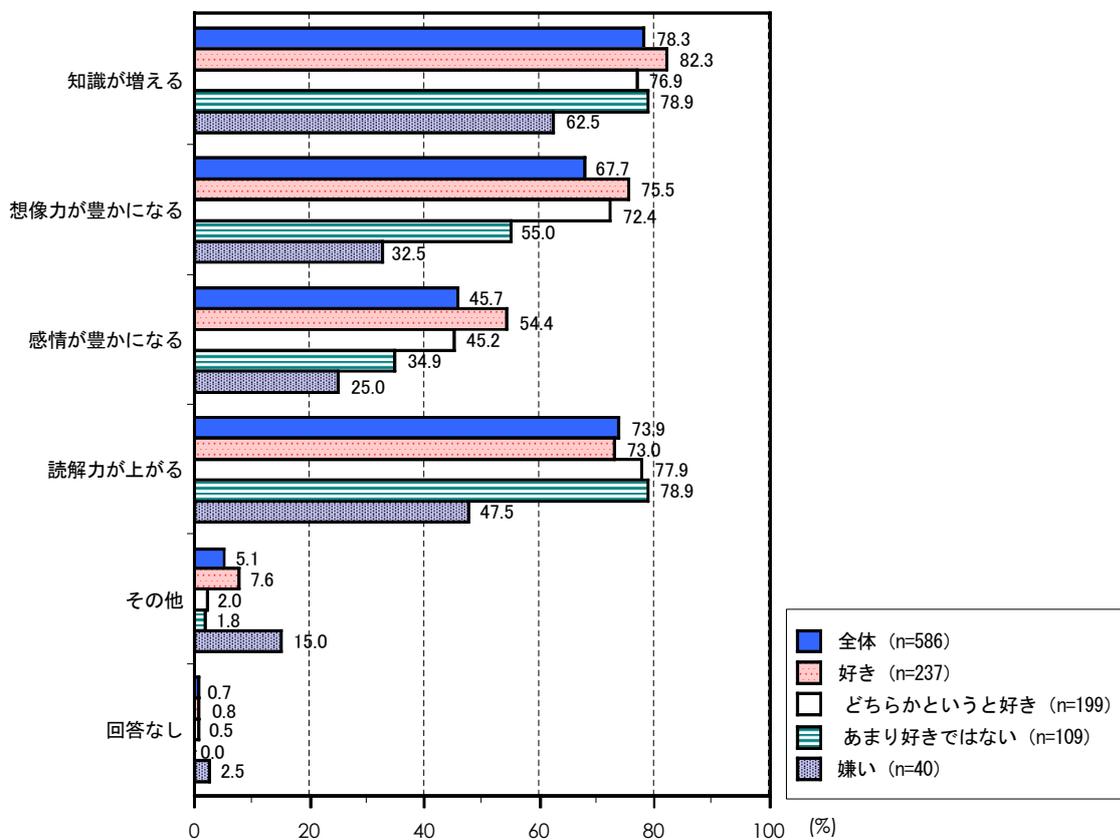
全体では、「知識が増える」が78.3%で最も多く、次いで、「読解力が上がる」が73.9%となっています。この2つは7割を超えています。

さらに、「想像力が豊かになる」の67.7%、「感情が豊かになる」の45.7%が続いています。

読書が「好き」と回答した生徒では、「知識が増える」が82.3%で全体の78.3%を4.0ポイント上回っています。また、「想像力が豊かになる」が75.5%で全体の67.7%を7.8ポイントも上回っています。

読書が「嫌い」と回答した生徒では、「知識が増える」は62.5%、「読解力が上がる」は47.5%、「想像力が豊かになる」は32.5%、「感情が豊かになる」は25.0%で、いずれも全体の値を大きく下回っています。本を読むことで得られる影響をあまり感じていない様子が見えます。

図表 1-2-34 読書が好きか別、本を読むことで得られる影響 - 複数回答 -
- 中学2年生 -



(17) 中央図書館ホームページでよく見る項目

中学校アンケート 問 14	中央図書館のホームページのどの項目をよく見ますか？一番あてはまるもの1つを選んでください。「その他」を選んだ人は()の中にわかりやすく答えを書いてください。
---------------	---

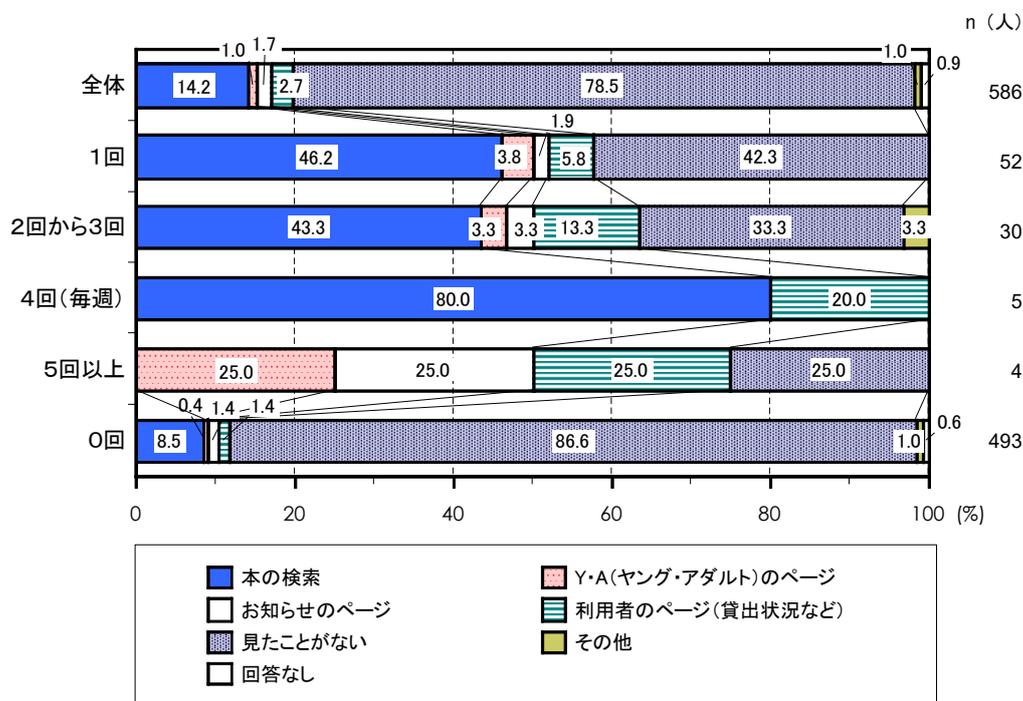
全体で見ると、「見たことがない」が78.5%で最も多くなっています。中学生の約8割は中央図書館ホームページを見ていません。次に多いのは、「本の検索」の14.2%となっています。

中央図書館に1か月に1回以上行く生徒をみると、「見たことがない」という生徒は少数となり、『見たことがある』生徒の方が多くなっています。

ホームページを『見たことがある（「本の検索」、「Y・Aのページ」、「お知らせのページ」、「利用者のページ」の計）』の割合は、1か月に中央図書館へ行く回数が「1回」では57.7%、「2回から3回」では63.2%、「4回（毎週）」では100.0%、「5回以上」では75.0%となっています。中央図書館に行く回数が多い生徒ほど、ホームページを『見たことがある』は増加する傾向がみられます。

図表 1-2-35 1か月に中央図書館へ行く回数別、中央図書館ホームページでよく見る項目

- 中学2年生 -



(1) 市民団体(ボランティア団体アンケート)

- ・朗読の会 吾亦紅 ・なんじゃもんじゃ
- ・読み聞かせボランティア(個人) ・点字サークル ・Ladybug

【質問①】 現在行っている活動の問題点や課題はありますか。

- ・有 (4団体) ・無 (1団体)

(有を回答した場合) 具体的な内容

- ・会員数が少ない。
- ・会員が高齢化している。
- ・若い会員の参加が待ち望まれる。
- ・今まで「おはなし会なんじゃもんじゃ」活動して下さった方が高齢になり、おやめになったので活動人数が減りました。新たな一緒に活動して下さる方々を探しています。
- ・一般の方に点字の重要性を理解してもらおう一方、視覚障がい者との接点が少ない。
- ・参加者が少なくなっていること
- ・子どもの年齢 (小学生の数が少ない)
(以前、参加者の低年齢化のことをおはなしされていた。団体としては乳幼児よりも小学校に入る・入らないくらいの子に来てほしいとのこと)

【質問②】 今後5年間で新たにできる読書に関する活動はありますか。

- ・有 (3団体) ・無 (2団体)

(有を回答した場合) 具体的な内容

- ・読み聞かせ動画を増やしていきたい。
- ・講談。
- ・子どもを対象に講談を体験してもらおう。
- ・参加型の読み聞かせ (特に子どもたち)

【質問③】 長久手市中央図書館と連携はとれていますか。

- ・とれている (5団体) ・とれていない (0団体)

(「とれていない」を回答した場合) その理由

- ・ -

【質問④】 子どもの読書活動を豊かなものにするために必要なこと
<ul style="list-style-type: none"> ・情緒豊かな物語、おはなしに触れあう機会を増やす。 ・紙芝居、読み聞かせ、劇等を生で聞いて感じたり考えたりする。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんが本を読むことが楽しいと思うこと（いけない事は本の感想を聞いたり、本を読むよう命令すること）
<ul style="list-style-type: none"> ・身近に読みやすい本がある事 （読みやすい本：表紙が面白い等、手に取りやすい）
<ul style="list-style-type: none"> ・点字の読めない視覚障がい児のために触れる本を充実させる一方で、小学校などの図書室に置き、児童たちに触れてもらって身近に感じてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ（家庭、保健所、幼稚園、学校、図書館など） ・図書館に来てもらうこと（できれば親子で） ・保護者への働きかけ（ホームページ、市の広報、SNSの活用など）

【質問⑤】 第3次長久手市子ども読書活動推進計画に対する意見
<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会に参加する子ども達の低年齢化。乳児、幼児が増えている。 ・父親の参加も増えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんが楽しい、好きな本に出会える機会がたくさんある事 ・そのような本に出会えるリストがいつもある事 ・長久手市は歴史などある市などで理解できること（小牧・長久手の戦い、長久手市の昔話・伝説歴史的な寺などの理解）
<ul style="list-style-type: none"> ・動画やゲームを楽しむことが多くなっている子ども達、本を読んでページをめくって次の世界が広がることを経験してほしい。

【その他 中央図書館に伝えたいこと】
<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の幼児おはなし会のアンケート等改善点などあったら、新しい物を取り入れていきたい。教えていただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもさんの成長に本というすばらしい物に出会い、生涯、読書が生きる事のお手伝いができる場所なので、1人でも多くのお子さんに伝えたい。その場所が中央図書館だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展示のコーナーに点字本を展示したり、今はコロナ禍で無理でしょうが、将来図書館で制作作業などを実演したいです。

(2) 関係機関(児童発達支援センターヒアリング)

【質問①】 現在行っている読書に関する活動の問題点や課題はありますか。
・有
(有を回答した場合) 具体的な内容
・実際の年齢と精神年齢が違うため、選書に苦労している。絵本を読み聞かせた際の反応を見てその本が適しているか分かる。実際の年齢よりも低い対象年齢の本を読むことが多い。
【質問②】 今後5年間で新たにできる読書に関する活動はありますか。
・無
(現状)
・朝の会と帰りの会で絵本の読み聞かせをしている。どちらかの会で、2週間の期間同じ本を読む。何回も繰り返し読むことで話の展開を覚えるため、次の展開が分かり楽しんでいる様子だった。もう一方の回はそれぞれの先生が選んだ絵本を読んでいる。読む本は購入したものや“すぎのご教室”から寄付されたもの。
【質問③】 子どもの読書活動を豊かなものにするために必要なこと
・それぞれの子どもに合わせて絵本の読み聞かせをすること。 ・2歳児には1対1でその子のペースに合わせて読み聞かせ、3歳以上の子は保育園や幼稚園の練習もかねて大勢で読み聞かせている。色の活動をするときは色に関する絵本、数の活動をするときは数に関する絵本を読み聞かせるなどそのときのテーマにあった絵本を選んでいる。
【質問④】 第3次長久手市子ども読書活動推進計画に対する意見
・通常、クラスの担任が絵本の読み聞かせをしているが、たまに担任以外が読み聞かせをすることがある。いつもと違う人物が読み聞かせをすることは児童にとって新鮮なようで、通常より集中して話を聞いている様子だった。図書館からも読み聞かせボランティアに来てもらって読み聞かせをしてもらえるといいと思う。
【その他 中央図書館に伝えたいこと】
・保護者の方から、育児・教育についての本をネットで買ったが、内容が思っていたものと違って捨ててしまったと聞いた。図書館にも育児や教育に関する本があると聞いたので、今度からは図書館に行ってみよう保護者にアドバイスしたいと思う。

(1) 児童館6館・子育て支援センター1館・保育園6園(アンケート)

【質問①】 現在行っている読書に関する活動の問題点や課題はありますか。
・有 (7 館園) ・無 (6 館園)
(有を回答した場合) 具体的な内容
・図書室で落ち着いて読書をしたい子のスペースを確保してあげられない時もあるので、図書室だけではなく、館内の他の場所の使用の仕方も検討し読書しやすい環境を整える。
・コロナ禍で、図書室を児童クラブに開放しているため静かに読書が出来る状態ではないです。
・幼児を対象に読み聞かせを行っているが、興味を示さないお子さんにはどのような対応をしていくとよいでしょう？
・読書する場所が狭い(コロナ禍で椅子を減らしている)
・平常時は来館者が年齢、興味に応じて自由に絵本を手にとってもらえたが、新型コロナ対策の消毒対応ため、担当が選定した 20 冊程度のみ提供となっていること。(R2.3~8 まで図書コーナー閉鎖、R3.8 下旬より冊数制限の上で提供)
・平常時は毎日 11:15~スタッフ(保育士)による読み聞かせを実施していたが、現在はコロナ対策のため中止している。今のところ、再開の目処は立っていない。
・コロナ禍で絵本の貸し出しができていない。
・子どもにとって絵本は大切な存在であることを保護者の方に啓蒙できていない。
・コロナウイルス感染予防のため、週 1 回行っていた貸し出し絵本を中止している。
・子どもが自ら選んで家庭に持ち帰った絵本を見ることで、親子の時間が持っていた。
・仕事に忙しく絵本に関心の無い保護者でも、自分の子がどのような傾向の絵本に興味を持っているのかが、貸し出し絵本を通してわかってくるが、中止をしていることで、保護者の意識が薄くなる。
【質問②】 今後 5 年間で新たにできる読書に関する活動はありますか。
・有 (5 館園) ・無 (8 館園)
(有を回答した場合) 具体的な内容
・幼児さんの保護者対象のちょっとした絵本講座
・小学生対象のブックトーク？
・図書館の方を招いての読み聞かせ会をやれたらうれしいです(本の紹介等)。
・本棚には余裕があり、来館者のリクエストで少しずつ本を増やしていく予定です。
・レトロに興味があるとの意見から『昭和の本コーナー』の設置に取り組んでいます。
・小中学生からのリクエストで、恋愛小説やアニメが小説になっているのを読みたいとのリクエストも聞かれるので、いくつかのコーナーがある本棚にしていきたいと考えています。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館職員による本の紹介、読み聞かせ活動（乳幼児親子、小学生向け）。 ※児童館と図書館の連携として、新たに企画実施できないだろうか。 ・ 地域の読み聞かせ団体、ボランティアさんの紹介。 ※児童館にて読み聞かせ活動を実施いただける団体をご紹介いただけないでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書コーナーの設置 ：長湫東保育園は令和 8 年度に閉園が決定しており、令和 5 年度から順次 1 部屋ずつ空きの保育室ができてくることが予想される。その空き保育室を利用して、園児がいつ利用してもいい図書コーナーを設置することが可能になる。各保育室に分散している本を 1 箇所を集め、沢山の本に囲まれた環境を作ることで、興味・選択の幅が広がるため、可能であれば実行したい。

【質問③】長久手市中央図書館と連携はとれていますか。
・ とれている（9 館園） ・ とれていない（3 館園） ・ 回答なし（1 館園）
（「とれていない」を回答した場合）その理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に連携を必要とする計画や、事業等が無かったため。 （絵本の消毒方法について、質問をした程度はあり） ・ 北保育園の時に絵本の貸し出しをしていたいただき感謝はしていますが、園にもある絵本だったり活用し切れていなかったり、何より絵本が行き交うだけで意見交換などの場が無かったのではと思います。 ・ 西保育園は図書館との貸し出し絵本の取り組みも参加したことがないので。
【参考】（「とれている」と回答した園から）
・ 図書館で、長湫南保育園として大型絵本をお借りしている。

【質問④】子どもの読書活動を豊かなものにするために必要なこと
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書したくなる環境作りをしていく。ただ図書を並べるだけではなく工夫する。 ・ 図書室の本を充実させる。 ・ 絵本の読みきかせをする。 ・ 年齢にあった本の紹介をする。 ・ 新作の紹介をする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ やっと本の貸し出しを再開したばかりです。小学生の一般来館者が非常に少なく、じっくり本を読もうという子どもが居ない状態です。ただ時間つぶしのために本をペラペラ触っているだけで、本を大切にしようと言う気持ちがないように思います。 ・ 幼児向けには読み聞かせの時間を作っていますが、読み聞かせをして下さる方が日と時間を決めて来館していただけると、小さいうちからもっと本に親しんでもらう機会が増えるのかなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さいころからの読書経験。 ・ 良い本を選んで紹介する。 ・ 図書館に行ったら好きなジャンルの本を好きなだけ読むことができることを教えていきたい。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書コーナーに様々な種類の図書を設置し、その展開方法を工夫する。 （年齢、学年別のおすすめ図書の紹介、時期や季節のおすすめ図書の紹介、貸し出し数ランキングなど） ・ 子ども（小学生）自ら本を読む習慣をつけたい。そのために児童館スタッフはその時間と空間を提供していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者を含め、絵本を身近に感じてもらうこと。 ・ そのためには、読み聞かせを含め絵本を含めた「おはなし」に触れる機会を増やすことが必要であると考えられる。 ・ 電子書籍が拡大する中で、紙の絵本の良さを感じてもらうこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園でも読み聞かせをしているが、保護者にも絵本の楽しさを知らせていき、家でも絵本を楽しめるようにする。 ・ 絵本を読む側が絵本のことを知り、楽しさや奥深さを知っていけると良いのではないかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講等、私たち自身の絵本に対する知識向上。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読んであげる大人が、絵本が好きであること。 ・ 新刊の絵本や、昔ながらの絵本等、目に触れる場所を作ること。 ・ デジタル化で本離れが進んでいるとよく言われるが、それがどのような影響があるのかを知る機会があること（教科書に書かれていることが理解できなければ、問題も解けないし、知識にも繋がらない。メディア・映像に頼った子育ての危機感をどれだけの大人・保護者が持っているか）。便利で簡単な世の中になりすぎて、「絵本が好き→本を読む習慣を持つ→文章の内容がわかる」を大人達が忘れてしまっていないか？という意識を持って保育を展開すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しい読み聞かせ。 ・ 新刊絵本の紹介（実際にすぐ手に取って読める体制を整える）
<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの絵本を用意する。 ・ 日常に絵本の読み聞かせの時間をたくさん作る。 ・ 絵本を大切に扱う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さい年齢から読み聞かせの習慣がつくことで、絵本の世界に入りやすくなる。 ・ 絵本に触れる機会を意識的に作り、絵本が楽しいものと感じられること。 ・ 子どもの感じたことに共感し、集団の場では楽しい世界をひろげられること。

<p>【質問⑤】 第3次長久手市子ども読書活動推進計画に対する意見</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書手帳については、初めて知ったので児童館でもお知らせできる機会もあるかと思えます。 ・ 児童館でのボランティアによる読み聞かせについて書かれていたので、楽しみにしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館への本の貸し出し制度が良い。 ・ 2年に一度の入れ替えが1年ごとになったらさらにうれしいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ いつも色々な本を貸していただけるので、色々なジャンルの絵本があることが分かり、勉強になります。保育園に無い絵本が貸してもらえるので毎回楽しみにしています。

【その他 中央図書館に伝えたいこと】
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館連携では、小学生に人気の図書を入れて頂き助かっています。今後も続けて頂きたいです。また、幼児向けの絵本も親子で楽しく繰り返し読んでいる様子が見られ、ありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対して研修をして頂けるとうれしいです。 (年齢にあった本の紹介、読みきかせの仕方、本の修繕の方法、種類の分け方(陳列の仕方・見せ方)、廃棄本に関する知識 等)
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに「この本を読んでほしい」という図書も揃えたいですが、「今子どもが読みたいと思っている本」を教えていただければと図書の購入の参考になります。
<p>(児童館の利用者さんからのご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本を読んだ後、図書館横の芝生広場で小さい子が遊べて良い。 ・共生ステーションなどで返却できるのが良い。 ・日進市のような貸し出しシステムがわかりやすくてよい。 ・図書館内の本を読むスペースが狭い。蔵書数を増やしてほしい。 ・図書館と文化の家をひとつの施設にして本を読むスペースを確保してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも素敵な本を児童館へ設置くださり、ありがとうございます。その際、来館者(乳幼児親子・小学生)へ新しく設置した本の紹介や本の読み聞かせ等を実施いただくことは可能でしょうか。 ・「④子どもの読書活動を豊かなものにするために必要なこと」に関して、私たち児童館スタッフの声掛けはもちろん、ぜひとも図書館職員の皆様の声を子どもたちに届けることができますと幸いです。 ・地域の読み聞かせ団体、ボランティアさんをご紹介いただくことは可能でしょうか。児童館では乳幼児親子向けの活動として、児童館スタッフが絵本の読み聞かせを実施しております。児童館スタッフのみならず、地域の読み聞かせ団体、ボランティアさんがみえましたら、ぜひご紹介いただきたく存じます。
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の絵本(主に0歳～3歳)の新刊やおすすめの本など、本についての情報を定期的にいただけると、有難い。限られた冊数しか提供できないので、選定するときの参考としたい。 ・平常になった場合、図書コーナーの整備についてアドバイスをいただきたい。 ・読み聞かせはスタッフ(保育士)でも可能だが、可能であればより専門性を持った司書さんに保護者向けに講演(育児講座やサロン内)を行ってもらうことができれば、ぜひ検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・他園で行っている絵本の貸し出し(図書館の方が選んだ本を読み聞かせ、交流する)の園を広げて欲しい。 ・新型コロナ感染が落ち着いたら、例えば園開放の日に図書館の方が、園に来て、読み聞かせる時間を作り交流したい。

(2) 小学校・中学校(アンケート)

【質問①】 読書活動を推進するためにどのような支援を行っていますか。
(小学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携司書によるブックトーク、読み聞かせ、ストーリーテリング ・図書フェスタの開催 ・委員会活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ブックトーク ・読み聞かせ ・紙芝居 ・ストーリーテリング (学校連携司書の方がやっています) ・必読書を読んでクイズに答えるチャレンジ読書
<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ ・読書ビンゴ ・朝読書 ・読書の木 (本を読んだら葉っぱの紙をもらい、クラスの木に掲示物に貼って木を完成させる)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症予防のため、現在はあまり活動ができていません。以前は、PTA 役員 (図書ボランティア) さんによる読み聞かせ、司書さんによる読み聞かせ (紙芝居など) を行っていました。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書さんを中心に、ブックトークや読み聞かせを行っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ、ブックトーク ・放送で本の紹介
(中学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書 ・朝読強化週間として、教師の読み聞かせ、ボランティアによるストーリーテリングを行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書活動 (10分間) ・司書と連携 (中央図書館) してストーリーテリングを実施
<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの課題図書のブックトーク
【質問②】 読書週間事業を行っていますか。
<ul style="list-style-type: none"> ・行っている (9校) ・行っていない (0校)
(「行っている」と回答した場合) 具体的な内容
(小学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・2冊貸出、図書クイズ、図書ビンゴ、図書おみくじ、しおりコンテスト等その年によって企画を変えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・2冊貸出 ・分類番号ビンゴ ・チャレンジ読書・読書貯金

<ul style="list-style-type: none"> ・6月、9月、2月に3週間程度図書館祭りというものを計画し、図書室で借りられる本の冊数を増やしたりおすすめの本を紹介したりしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・本の2冊貸し出し（普段は1冊） ・読書郵便（友達に本をすすめよう） ・図書委員によるおすすめの本の紹介（掲示や図書館だよりなどで）
<ul style="list-style-type: none"> ・6月…あじさい読書週間、11月…秋の読書週間、1月…新春読書週間 <p>期間中は2冊借りられて、10冊以上借りるとしおりをプレゼントする。 ※読む本のジャンルは問わない</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・貸出数の変更 1→2
(中学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書 ・朝読強化週間として、教師の読み聞かせ、ボランティアによるストーリーテリングを行っている。(①と同じ回答)
<ul style="list-style-type: none"> ・図書委員会として1年間に3回、読書週間を行っている。活動として、おすすめの本コーナーの設置や、POPの作成、その他企画を考えて読書促進活動を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館で貸し出す冊数を3冊から10冊に増やす活動を行っている。

【質問③】 学校図書館を有効に使うためにはどのようにするとよいですか。

(小学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・年度始めのオリエンテーションを全学年に行うこと。職員や児童に呼びかけ、図書館利用に対する意識を高めること。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携司書の方を各校に1人ずつ常駐できるようにしてほしい。 ・司書の方の力量を上げていただき、学校間の差が少なくなるとありがたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・図書室の時間割を設定し、図書館司書が実践できる内容を各教員に紹介しながら図書館を利用する機会を設ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・学習で必要な資料や辞書などを司書さんにまとめていただく。
<ul style="list-style-type: none"> ・わりあて時間は積極的に図書館を使用する。学習で使用する本をすぐに探せる環境づくり。
<ul style="list-style-type: none"> ・一般的な図書室と同様司書の方のレファレンスと分類で、本を借りやすいよう工夫している。
(中学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書さんが常時いてくださると、学校図書館がもっと活発化すると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・読書をすすめる活動、生徒が魅力を感じる蔵書を整えるなど図書室の充実をはかること。
<ul style="list-style-type: none"> ・授業で図書館の蔵書についてのPOPを書く活動 ・学校連携司書による図書館オリエンテーションの実施 ・委員会活動におけるPOP作成と図書紹介

【質問④】 必読書・推薦図書をどのように選定していますか。具体的に教えてください。
(小学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携司書と相談して選定している。 ・司書の方がやったださり、助かっています（教師だけではバランス良く選べない、時間も思うようにとれないため）。 ・必読書は今年度の子どもたちの読書傾向の様子を見て選定していく予定です。 ・司書さんに相談し、選定していただいています。 分類ごとに決められた割合に近づくように調整している。 調べ学習で必要な本を優先に、なるべく新刊で良い本を選んでいく。 ・教職員に希望を聞く ・学習で使用する本を優先し、学校司書と話し合いながら選定する。 ・学校司書と学校連携司書を中心に、図書担当が学校職員に希望を聞きながら選定。
(中学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書さんにお任せしています。 ・読書感想文の課題図書や YA の本を選ぶことが多い。その他に選ぶ図書は司書さんのおすすめの本を中心に選んでいる。 ・学校連携司書と学校図書館担当者、司書教諭による選書リストの作成、確認、相談の上で選定を行っている。
【質問⑤】 読書環境作りとしてどのようなことをしていますか。
(小学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・季節にあった掲示物やテーマ展示を行っている。 ・図書ボランティアさんが季節にあった飾り付けをしてくれている。 ・図書委員や教科で学習した学年のおすすめ本の紹介のポップなどを掲示。 ・低学年図書室を引っ越したので、机や椅子、棚なども新しくなり、少しずつ環境を整えているところです。調べ学習の本が不足しているので、そちらも増やしていこう思っています。 ・季節ごとにディスプレイする。(図書室) ・季節ごとにおすすめの本を見やすく並べたり、新刊の本を分かりやすいところに並べたりする。 ・図書ボランティアさん（PTA）による図書館の装飾。(季節に合わせて) ・図書委員会のおすすめ図書掲示。 ・朝読の時間の確保 ・3年生次に図書館見学をして、図書館、図書室に足が向きやすい工夫。
(中学校)
<ul style="list-style-type: none"> ・学級文庫の設置 ・1年生にのみ図書館オリエンテーション ・朝読の時間の確保

- ・学級文庫を設置していること。(1クラス40冊をクラスに貸出している)
- ・ストーリーテリングを依頼して実施していること。
- ・本の背を揃える作業や前出し作業を行い、書架の本を取りやすくしていること。
- ・学校連携司書が推薦する本のコーナーを常時設営すること。
- ・本にPOPをつけ、目立たせるよう工夫すること。

【質問⑥】 今後5年間で新しく取り組むことができる活動はありますか。

(小学校)

- ・タブレットと図書を併用した調べ学習
- ・必読図書を設定していなかったため、必読図書に取り組ませたいと思います。
- ・コロナが落ち着いたら、児童同士の読み聞かせなどを行っていきたい。
- ・アニメーションやビブリオバトルなどにも挑戦できたらいいなと思っています。
- ・新聞の活用
- ・特別支援学級の児童が手に取りやすい本の選定

(中学校)

- ・どの学年も4月、5月で図書館オリエンテーションを行いたい。
- ・学校図書館司書さんの来校を増やしてほしい。
- ・調べ学習用で用いる辞典を充実させること。
- ・教科書で取り上げられている作家の関連図書を整えること。

【その他 (自由意見)】

(小学校)

- ・長久手は図書館の本を学級文庫に借りたり、調べ学習に必要な本を司書の方を通してすぐ借りることができるので、とてもありがたいです。ぜひ、ずっと学校連携で司書の方に来ていただきたいです。
- ・中央図書館の司書さんが昨年度から3日来ていただくようになり、大変ありがたいのですが、午前中で他校に移動されてしまうことがあり、打合せの時間もあまりとれず、もっと来ていただきたいと思います。また、ブックトラックを購入したいのですが、金額も高く、予算内でやりくりができません。ブックトラックがあるだけで授業での図書の利用頻度が違います。
- ・年度末には、多読賞の発表をしています。
- ・いつも司書さんには大変お世話になっております。ありがとうございます。
- ・いつも学校司書さんに助けていただき、大変ありがたいです。今後ともよろしく願いします。

(中学校)

- ・タブレットが導入されてことで、電子図書へも関心が高まっているように感じる。特に調べ学習でタブレットを用いる際に、書籍のように信頼できる情報があると良いと思う。(電子の辞典等)
- ・学校連携司書の学校勤務日数を増やしてください。また、半日ではなく、1日学校にいる日も設定してほしいです。

(3) 高等学校(アンケート)

【質問①】 読書活動を推進するためにどのような支援を行っていますか。

- ・ 毎月の図書館便りの発行
- ・ 貸出をすると雑誌のふろくプレゼントなどの期間限定キャンペーン
毎月の映画ポスタープレゼント企画等"

【質問②】 読書週間事業を行っていますか。

- ・ 行っていない

【質問③】 学校図書館を有効に使うためにはどのようにするとよいですか。

- ・ 授業利用や図書館でのキャンペーンを通して、図書館に来るきっかけ作りを行う。

【質問④】 必読書・推薦図書をどのように選定していますか。具体的に教えてください。

- ・ 好きな本を読んでもらいたいので必読書は特に設けていません。読書感想文課題がある時はおすすめ本のリストを作成しています。自分が読んで高校生に合いそうだと思った本、短くても学びがある本、課題図書、話題本等を書店やネットで調べながらリストアップしています。

【質問⑤】 読書環境作りとしてどのようなことをしていますか。

- ・ 話題書、映像化作品などの人気本は表紙を向けて並べて見つけやすいようにコーナーを作るなど、手に取りやすくしています。館内は長机と個別ブースに分け、用途によって使い分けられるようにしています。

【質問⑥】 今後5年間で新しく取り組むことができる活動はありますか。

- ・ 古い情報の載った資料を廃棄し、新しい情報が得られるよう取組を進めています。コロナの影響でできていませんが、近隣の書店と協力し、書店に図書委員のPOPを設置していただくイベントも実施したいと考えています。